

障害児教育

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1101 ----- 特別ニーズ教育特論	2	前期 火 7-8	木村 素子 准教授	本講義では、諸外国におけるインクルーシブ教育の理念、制度に関する先行研究や原典資料を講読し、現在我が国において行われている障害児教育制度改革の背景を理解する。	毎授業の発表内容・討議内容、授業後のコメントカードを総合して評価する。
EM1102 ----- 特別ニーズ教育特論	2	前期 集中	木村 素子 准教授	本講義では、諸外国におけるインクルーシブ教育の理念、制度に関する先行研究や原典資料を講読し、現在我が国において行われている障害児教育制度改革の背景を理解する。	毎授業の発表内容・討議内容、授業後のコメントカードを総合して評価する。
EM1103 ----- 特別ニーズ教育特論演習	1	後期 火 9-10	木村 素子 准教授	受講生の問題関心にに基づきながら、インクルーシブ教育に関する論文や資料の講読を通して、問題関心の深化を図る。	毎授業の発表内容・討議内容、授業後のコメントカードを総合して評価する。
EM1104 ----- 特別ニーズ教育特論演習	1	★	木村 素子 准教授	受講生の問題関心にに基づきながら、インクルーシブ教育に関する論文や資料の講読を通して、問題関心の深化を図る。	毎授業の発表内容・討議内容、授業後のコメントカードを総合して評価する。
EM1105 ----- 特別ニーズ教育経営特論	2	後期 月 7-8	木村 素子 准教授	障害者差別解消法の施行に伴い、学校教育の場でも、合理的配慮の提供が重要な課題となってきた。とりわけ、通常の学級に在籍する児童生徒に対して合理的配慮を行う際には、支援方法や教材の変更といったアコモデーションだけでなく、教育目標や教育内容の修正といったモディフィケーションをどう行うかは今後の大きな課題である。本講義では、とくに通常の学級における合理的配慮の提供について、指導案の作成等を通して実際に検討する。	毎授業の発表内容・討議内容・グループワーク等の授業への取り組み状況を総合して評価する。
EM1106 ----- 障害教育授業づくり特論	2	後期 木 7-8	木村 素子 准教授	我が国の障害児教育、とくに知的障害を伴う児童生徒の指導にあたっては、戦後、領域・教科を合わせた指導形態が標準となってきた。しかし、成立の歴史的経緯をみれば、領域・教科を合わせた指導と教科別・領域別の指導のあり方に関する議論はまだ一定の収斂をみているわけではない。本講義では、この領域・教科を合わせた指導のうち、とくに生活単元学習を中心に、なぜ生活単元学習なのか、生活単元学習とは何かをいま一度考え、実践の理論的基盤を構築することを目的とし、関連する論文、資料等を講読する。	毎授業の発表内容・討議内容、授業後のコメントカードを総合して評価する。
EM1107 ----- 障害教育授業づくり特論	2	後期 集中	木村 素子 准教授	我が国の障害児教育、とくに知的障害を伴う児童生徒の指導にあたっては、戦後、領域・教科を合わせた指導形態が標準となってきた。しかし、成立の歴史的経緯をみれば、領域・教科を合わせた指導と教科別・領域別の指導のあり方に関する議論はまだ一定の収斂をみているわけではない。本講義では、この領域・教科を合わせた指導のうち、とくに生活単元学習を中心に、なぜ生活単元学習なのか、生活単元学習とは何かをいま一度考え、実践の理論的基盤を構築することを目的とし、関連する論文、資料等を講読する。	毎授業の発表内容・討議内容、授業後のコメントカードを総合して評価する。
EM1108 ----- 重度・重複障害教育特論	2	後期 金 5-6	中村 保和 准教授	重度・重複障害を伴う児童生徒の学校教育について、児童生徒の多様な実態、学校教育の歴史・制度・現状および問題点を明らかにするとともに、種々の教育実践例をVTRや教育実践論文を通して考察する。	発言5、課題レポート5の割合で評価する。レポートは、実践的視点を重視する。
EM1109 ----- 重度・重複障害教育特論演習	1	後期 火 1-2	中村 保和 准教授	重度・重複障害を伴う児童生徒に対する教育事例をもとにして、実践的視点から研究協議を行う（偶数年開講）	発言5、実践研究論文を子どもの視点から考察する力5の割合で評価する。

障害児教育

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1110 ----- 重度・重複障害教育特論演習	1	★	中村 保和 准教授	重度・重複障害を伴う児童生徒に対する教育事例をもとにして、実践的視点から研究協議を行う（奇数年開講）	発言5，実践研究論文を子どもの視点から考察する力5の割合で評価する。
EM1111 ----- 重度・重複障害支援法特論	2	★	中村 保和 准教授	重度・重複障害を伴う児童生徒が学校現場でどのような方法で支援されているのか、具体的に取り上げて、それぞれの方法の長所・短所を検討していく。（奇数年度開講）	発言5，課題レポート5の割合で評価する。レポートは、実践的視点を重視する。
EM1112 ----- 重度・重複障害支援法特論	2	前期 月 5-6	中村 保和 准教授	同上（偶数年度開講）	発言5，課題レポート5の割合で評価する。レポートは、実践的視点を重視する。
EM1113 ----- 特別ニーズ支援法特論演習	1	後期 集中	中村 保和 准教授	重度・重複障害児を対象とした実践活動の参観および実施を行った後、当該実践についての筆記記録やビデオ映像記録を用いた研究協議を行い、重度重複事例における保わり手のあり方や省察方法について学ぶ。（偶数年開講）	子どもの活動を適切に支援する力7，支援を振り返りまとめる力3の割合で評価する。
EM1114 ----- 特別ニーズ支援法特論演習	1	★	中村 保和 准教授	同上（奇数年度開講）	子どもの活動を適切に支援する力7，支援を振り返りまとめる力3の割合で評価する。
EM1115 ----- 障害児医学特論	2	後期 月 3-4	吉野 浩之 教授	障害児教育で求められる幅広い医学知識や教師自身の健康管理について、平易な言葉で解説する。さらに最新の知識を含めた発生学、脳科学、遺伝子学、生命倫理などについても概説する。	レポート5，授業へのとりくみ5で評価する。
EM1116 ----- 障害児医学特論	2	前期 月 特例	吉野 浩之 教授	障害児教育で求められる幅広い医学知識や教師自身の健康管理について、平易な言葉で解説する。さらに最新の知識を含めた発生学、脳科学、遺伝子学、生命倫理などについてもより実践をふまえて概説する。	レポート5，授業へのとりくみ5で評価する。
EM1117 ----- 障害児医学特論演習	1	★	吉野 浩之 教授	障害児医学特論で学んだ内容を、テーマを絞って、より深く学び、自ら解決できる力を養う。（偶数年度開講）	レポート5，授業へのとりくみ5で評価する。
EM1118 ----- 障害児医学特論演習	1	後期 火 7-8	吉野 浩之 教授	障害児医学特論で学んだ内容を、テーマを絞って、より深く学び、自ら解決できる力を養う。（奇数年度開講）	レポート5，授業へのとりくみ5で評価する。

障害児教育

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1119 医療的ケア特論	2	前期 月 9-10	吉野 浩之 教授	学校における医療的ケアの歴史的経緯と現状について解説する。さらに吸引、排痰のための呼吸器理学療法、人工呼吸器、栄養管理（胃瘻、経管栄養、摂食介助など）、導尿、人工肛門管理、自己注射、服薬などの、現在行われている医療的ケアやその周辺知識、将来学校で行うことになるであろうケアについて、実技を含めて学ぶ。	レポート5、授業へのとりくみ5で評価する。
EM1120 医療的ケア特論	2	後期 月 特例	吉野 浩之 教授	学校における医療的ケアの歴史的経緯と現状について解説する。さらに吸引、排痰のための呼吸器理学療法、人工呼吸器、栄養管理（胃瘻、経管栄養、摂食介助など）、導尿、人工肛門管理、自己注射、服薬などの、現在行われている医療的ケアやその周辺知識、将来学校で行うことになるであろうケアについて、実技を含めて学ぶ。	レポート5、授業へのとりくみ5で評価する。
EM1121 コミュニケーション支援特論	2	後期 火 5-6	金澤 貴之 教授	典型的なコミュニケーション障害である、聴覚障害に注目し、コミュニケーション障害とはいかなるものかについて検討した上で、聴覚障害者が直面するコミュニケーションの問題や、コミュニケーション手段に注目した指導上の課題について、具体的な事例をもとに考察する。	授業へのとりくみ：課題発表5の比で評価する。課題発表については、発表資料（情報収集、分析、考察）とプレゼンテーション（発表の分かりやすさ、質疑応答の的確さ）の両面から評価する。
EM1122 コミュニケーション支援特論	2	後期 水 特例	金澤 貴之 教授	典型的なコミュニケーション障害である、聴覚障害に注目し、コミュニケーション障害とはいかなるものかについて検討した上で、聴覚障害者が直面するコミュニケーションの問題や、コミュニケーション手段に注目した指導上の課題について、先行研究の分析作業を通して考察を深める。	授業へのとりくみ：課題発表5の比で評価する。課題発表については、発表資料（情報収集、分析、考察）とプレゼンテーション（発表の分かりやすさ、質疑応答の的確さ）の両面から評価する。
EM1141 障害福祉学特論	2	★	金澤 貴之 教授	障害者福祉の現状について、厚生労働省関係資料等を中心に、知識・理解を深め、今後の課題について考察する。基本的には課題論文を事前に配付し、その論文の主題について講義し、後にディスカッションを行う。	授業へのとりくみ：課題発表5の比で評価する。課題発表については、発表資料（情報収集、分析、考察）とプレゼンテーション（発表の分かりやすさ、質疑応答の的確さ）の両面から評価する。
EM1144 障害福祉学特論	2	前期 木 3-4	金澤 貴之 教授	障害者福祉の現状について、厚生労働省関係資料等を中心に、知識・理解を深め、今後の課題について考察する。基本的には課題論文を事前に配付し、その論文の主題について講義し、後にディスカッションを行う。	授業へのとりくみ：課題発表5の比で評価する。課題発表については、発表資料（情報収集、分析、考察）とプレゼンテーション（発表の分かりやすさ、質疑応答の的確さ）の両面から評価する。
EM1124 障害福祉学特論演習	1	★	金澤 貴之 教授	「障害者福祉学特論」で学んだテーマについて、各自でテーマをさらに絞り、資料収集やフィールドワークを行う。毎回の授業の中で、その経過報告をし、お互いに質問や要望を出し合うことで、探求的に各自のテーマを深く調べていく。	授業へのとりくみ：課題発表5の比で評価する。課題発表については、発表資料（情報収集、分析、考察）とプレゼンテーション（発表の分かりやすさ、質疑応答の的確さ）の両面から評価する。
EM1125 障害福祉学特論演習	1	後期 火 3-4	金澤 貴之 教授	「障害者福祉学特論」で学んだテーマについて、各自でテーマをさらに絞り、資料収集やフィールドワークを行う。毎回の授業の中で、その経過報告をし、お互いに質問や要望を出し合うことで、探求的に各自のテーマを深く調べていく。	授業へのとりくみ：課題発表5の比で評価する。課題発表については、発表資料（情報収集、分析、考察）とプレゼンテーション（発表の分かりやすさ、質疑応答の的確さ）の両面から評価する。
EM1126 特別ニーズ支援法特論	2	後期 月 9-10	任 龍在 准教授	特別な教育的ニーズのある児童生徒の実態を適切に把握するとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導及び支援を計画、実施、そして評価について講義する。	授業及び討論への参加状況3、レポート5、期末試験2などを総合的に判断して評価する。

障害児教育

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1127 ----- 特別ニーズ支援法特論	2	後期 金 7-8	任 龍在 准教授	特別な教育的ニーズのある児童生徒の実態を適切に把握するとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導及び支援を計画、実施、そして評価について講義する。	授業及び討論への参加状況3、レポート5、期末試験2などを総合的に判断して評価する。
EM1128 ----- 特別ニーズ支援法特論演習	1	前期 月 7-8	任 龍在 准教授	肢体不自由教育を中心に、各自課題を設定し、資料収集、学校見学、授業参観などを通じて学校現場への理解を一層深め、研究論文（主に、修士論文）を作成するために必要な基礎知識を身に付ける。	プレゼンテーション5、ディスカッション3、レポート2などを総合的に判断して評価する。
EM1129 ----- 特別ニーズ支援法特論演習	1	★	任 龍在 准教授	肢体不自由教育を中心に、各自課題を設定し、資料収集、学校見学、授業参観などを通じて学校現場への理解を一層深め、研究論文（主に、修士論文）を作成するために必要な基礎知識を身に付ける。	プレゼンテーション5、ディスカッション3、レポート2などを総合的に判断して評価する。
EM1130 ----- 運動発達支援特論	2	前期 木 9-10	任 龍在 准教授	肢体不自由教育を中心に、日本の特別支援教育が直面している課題を外国ではどのように解決しようとしているのかを理解するとともに、日本にとって今後の望ましい方向性（解決策）を検討する。	プレゼンテーション5、ディスカッション3、レポート2などを総合的に判断して評価する。
EM1131 ----- 障害児心理診断法演習	1	★	霜田 浩信 教授	障害のある児童の知的能力、認知特性や行動特性等のデータにもとづいて、抱える困難性の要因を読みとり、適切な支援目標、支援方法を考案することを学習する。（奇数年度開講）	授業へのとりくみ、レポートを5：5の比で評価する。
EM1142 ----- 障害児心理診断法演習	1	後期 木 9-10	霜田 浩信 教授	障害のある児童の知的能力、認知特性をアセスメントする検査方法について学ぶ。（偶数年度開講）	授業へのとりくみ、レポートを5：5の比で評価する。
EM1132 ----- 認知発達支援特論	2	前期 火 5-6	霜田 浩信 教授	認知発達の理解を通じて発達障害をはじめとする障害児の困難さに関する理解を深め、適切な関わり方について検討する。	授業へのとりくみ、授業時の発表などを元に総合的に評価する。
EM1133 ----- 認知発達支援特論	2	前期 水 特例	霜田 浩信 教授	認知発達の理解を通じて発達障害をはじめとする障害児の困難さに関する理解を深め、適切な関わり方について検討する。	授業へのとりくみ、授業時の発表などを元に総合的に評価する。
EM1134 ----- 感覚・知覚発達支援特論	2	後期 月 5-6	中村 保和 准教授	人間の感覚・知覚の発達を学ぶと同時に、知的障害児や自閉症児、発達障害児等における感覚・知覚の特性を学ぶ。	授業へのとりくみ、授業時の発表などを元に総合的に評価する。

障害児教育

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1135 障害児心理学特論	2	後期 木 3-4	霜田 浩信 教授	個人と環境との相互作用として「行動」を捉え、問題の解決を個人のみを求めるのではなく、環境との相互作用のなかで改善しようとする支援方法について学ぶ。	授業へのとりくみ、授業時の発表などを元に総合的に評価する。
EM1136 障害児心理学特論演習	1	★	霜田 浩信 教授	障害のある子どもについて心理学的な視点、方法によって論文作成の検討する。文献講読や研究計画についての検討を行う。（奇数年度開講）	授業へのとりくみ、授業時の発表などを元に総合的に評価する。
EM1137 障害児心理学特論演習	1	前期 火 3-4	霜田 浩信 教授	障害のある子どもについて心理学的な視点、方法によって論文作成の検討する。文献講読や研究計画についての検討を行う。（偶数年度開講）	授業時の発表や態度などを元に総合的に評価する。
EM1138 言語発達支援特論	2	後期 集中	小竹 利夫 非常勤講師	様々な言葉について学習する。次に、乳幼児が言葉を獲得していく経過を、ビデオを通して学習する。続いて、いわゆる「言語障がい児」に対する様々な支援方法を、ビデオをまじえて具体的に学習する。	授業へのとりくみ2，発言3，課題レポート5の割合で評価する。レポートは実践的視点を重視する。
EM1139 活動分析特論	2	前期 月 1-2	会田 茂男 非常勤講師	中枢性疾患は、臨床像の複雑さゆえ、多様性のある対応を必要とされる。さらに発達の問題や認知・環境の問題も考えなくてはならない。本講義では、実践的な授業形態を通じ、障害を持つ子どもの作業・関わり方、チームアプローチについて学びあう。	発表5，課題レポート5の割合で評価する。レポートは臨床的視点を重視する。
EM1140 特別ニーズ教育実践インターンシップ	2	後期 集中	吉野 浩之 教授	小児から高齢者まで、医療制度や福祉制度について概説すると共に、入院医療、外来医療に続く第3の医療として注目を浴びている在宅医療の制度と関連の福祉制度について解説する。また、最先端の重症小児の生活支援や小児ホスピスなどについても学ぶ。	レポート5，授業へのとりくみ5で評価する。
EM1145 特別ニーズ教育実践インターンシップ	1	前期 集中	霜田 浩信 教授	特別支援教育についての理解を深め、現場で個々の授業・指導を観察し実践することを含みながらもそこにとどまらず、現場の機能を広い視野で捉えることを目指す。各学生は、これらの科目での研究を通じて、実践的指導力の向上に努める	事前事後指導、レポート、意欲、参加姿勢などを総合的に判断する
EM1146 特別ニーズ教育実践インターンシップ	1	後期 集中	霜田 浩信 教授	課題を設定とその解決、障害とその特性の把握、子どもへの働きかけなどの習熟を通して、さらに進んだ特別支援教育についての理解、現場での実践を通して、実践的指導力のあなる向上に努める	事前事後指導、レポート、意欲、参加姿勢などを総合的に判断する
EM1147 特別ニーズ教育実践研究	1	前期 集中	西菌 大実 教授	特別支援教育における6校種（盲、聾、知的、肢体不自由、病弱、通級）について、障害ごとの特性を理解し、実践的な指導を研究することにより、障害種ごとの特性を理解し、実践的指導力の向上に努める。	事前事後レポート、意欲、参加姿勢などを総合的に判断する

障害児教育

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1148 ----- 特別ニーズ教育実践研究	1	後期 集中	西 菌 大実 教授	授業・療育の実践を核とする活動を行うことにより、高度の専門性に裏付けられた障害児指導の実践力を養う。	レポート、意欲、参加姿勢などを総合的に判断する
EM1149 ----- 特別ニーズ教育実践研究	1	前期 集中	任 龍在 准教授	アジア諸地域の教育・福祉・社会・文化などを、事前事後指導と短期海外研修を通して、多角的かつ総合的に理解する。研修先は、韓国、中国、台湾、ベトナムなどである。	事前事後指導2、短期海外研修5、レポート2、参加姿勢1などを総合的に評価する。
EM1150 ----- 特別ニーズ教育実践研究	1	後期 集中	任 龍在 准教授	アジア諸地域の教育・福祉・社会・文化などを、事前事後指導と短期海外研修を通して、多角的かつ総合的に理解する。研修先は、韓国、中国、台湾、ベトナムなどである。	事前事後指導2、短期海外研修5、レポート2、参加姿勢1などを総合的に評価する。
----- 特別ニーズ教育特別研究	1	前期	専任 教員	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。〕	
----- 特別ニーズ教育特別研究	1	後期	専任 教員	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。〕	
EM1153 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	前期 金 1-2	金澤 貴之 教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1154 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	後期 金 1-2	金澤 貴之 教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1155 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	前期 金 1-2	吉野 浩之 教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1156 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	後期 金 1-2	吉野 浩之 教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	

障害児教育

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1157 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	前期 金 1-2	霜田 浩信 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1158 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	後期 金 1-2	霜田 浩信 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1159 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	前期 金 1-2	中村 保和 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1160 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	後期 金 1-2	中村 保和 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1161 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	前期 金 1-2	任 龍在 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1162 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	後期 金 1-2	任 龍在 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1163 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	前期 金 1-2	木村 素子 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	
EM1164 ----- 特別ニーズ教育特別研究	1	後期 金 1-2	木村 素子 准教授	特別ニーズ教育に関する研究方法、考え方について継続的に指導する。各自のテーマに従って、文献研究、情報収集、観察等を行い、各段階に応じた課題に取り組む。〔特別ニーズ教育特別研究は全学期各1単位ずつ必修なので注意すること。IからIVを履修する〕〔教員により若干日程を調整する可能性あり〕	

共通基礎科目

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM2001 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	西 菌 大実 教授	教職実践インターンシップに臨む前に、学校現場で参与観察を通じて研究を進めるための多様な視角と方法を学ぶ。教職実践インターンシップの後には、インターンシップでの研究成果をまとめ報告する。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。	研究成果報告。
EM2015 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	藤本 宗利・ 教授 河内 昭浩 准教授	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2016 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	社会全教員	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2017 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	渡部・田中・ 柴田・三原・ 官本・金田・ 山田	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2018 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	澤田 麻衣子 准教授	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2019 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	栗原 淳一 准教授 益田 裕充 教授	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2020 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	未定	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2021 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	吉田 秀文 教授 中里 南子 准教授	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2022 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	林 耕史 教授 齋江 貴志 准教授	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。

共通基礎科目

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM2023 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	上里 京子 教授	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2024 ----- 教職実践研究	1	通年 集中	木山 慶子 准教授 鬼澤 陽子 准教授	高度の専門性に裏付けられた授業実践力を養うために、各教科の授業実践を核とする授業を行なう。授業は、「授業づくり → 授業実践 → 授業研究会 → まとめ」という構成で進める。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。授業実践は当該校種・教科の免許状をもつ学生に限ることとし、それ以外のものは模擬授業等で代替する。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2003 ----- 教職実践研究	1	前期 集中	西菌 大実 教授	各学生が学校教育実践に関する研究課題を設定し、その課題を解決することを目的として、附属小学校で参与観察を行なう。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。	平常点。
EM2004 ----- 教職実践研究	1	後期 集中	西菌 大実 教授	各学生が学校教育実践に関する研究課題を設定し、その課題を解決することを目的として、附属中学校で参与観察を行なう。 ※専修免許状取得可能な学生については必修とする。	平常点。
EM2005 ----- 教職研究	2	前期 月 5-6	黒羽 正見 教授	学校の「自己更新力」(self-renewal)に焦点を当ててながら、21世紀の教師像を展望する。そのため、40年以上に亘り授業実践研究会を自主的に行い、とりわけ、道徳のカリキュラム経営を着実に推進してきた悠衣小学校を様々な角度から検討・吟味することで学校組織における道徳教育の在り方を理解できるようにする。	平常点。レポートを課すこともある。
EM2006 ----- 教職研究	2	★		「教育法規」「学校経営」は、学校が抱えている様々な課題を高く・広く捉えるためのキーワードである。教育法規を切り口にして現在の学校教育の課題を理解し、自らの学校観・授業観等を省察する。教職経験のない院生が学校教育をこれまで以上に深く理解できるよう、基礎的な内容と具体的な学校教育の場面を提示しながら講義を進める。	出席、授業中の発表により総合的に評価する。
EM2007 ----- 教育基礎研究	2	後期 金 9-10	三澤絃一郎 准教授	教育を「学校教育」に限定せず、より原理的に掘り下げて理解することを目指す。教育について原理的な考察、分析を行ってきた(いる)哲学者や思想家たちの洞察を参照しながら、現在のわれわれが目にしていく「教育」を捉えなおす。	授業への積極的な参加(ディスカッションやプレゼンテーション): 50% 期末レポート: 50%
EM2008 ----- 教育基礎研究	2	前期 金 7-8	霜田 浩信 教授	障害のある子どもの行動の原因を人の側に求めることはせず、あくまでもその原因を環境の中に求め、行動に影響を与えるすべての環境要因を解明しようとするための方法論を学ぶ。	レポート等により総合的に評価する。
EM2009 ----- 教育基礎研究	2	後期 月 3-4	豊泉 周治 教授	近代社会・国家と学校教育との関係についての基礎理論を学び、戦後日本社会および現代日本社会における学校教育の役割と課題、教育問題について検討する。	平常点、レポート等により総合的に評価する。

共通基礎科目

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM2010 教育基礎研究	2	前期 木 3-4	澤田 麻衣子 准教授	本講義では、学習者と教師とのコミュニケーションや学習者同士のコミュニケーションがどのように関連しあって個人の学習に影響を及ぼすのかという視点から授業分析の方法論を講義する。本講義では理解認知研究やコミュニケーション論を授業分析論の基礎として学ぶ予定である。	レポート、課題発表等、総合的に評価する。
EM2011 教育基礎研究	2	前期 金 7-8	新井 淑弘 教授	学校におけるヘルスプロモーションについて理解し、教育的活動と管理的活動を有機的に関連付けてマネジメントを行える実践的思考力を獲得することをねらいとする。そのため、学校保健および学校安全に関して、その目的と根拠、学校現場における実践、新しい問題の発見から改善方法の検討などの関して学習を行い、理解を深めるとともに、管理的活動と教育的活動の実際と連携について学習し、学校におけるヘルスプロモーションのあり方について検討する。	授業への参加状況、最終まとめレポートなどを総合的に評価する。
EM2012 教育基礎研究	2	前期 火 3-4	渡部 孝子 教授	外国人に対する日本の受け入れ状況、外国人児童生徒を取り巻く状況およびそれに関する教育問題を多角的に捉える。外国人児童生徒に対する教育的な包摂のありについて課題を整理し、多文化共生のための教育実践について日本語教育を中心に考えていく。	小レポートと最終レポートにより総合的に評価する。
EM2013 教育基礎研究	2	後期 火 7-8	吉田 浩之 准教授	学習指導上の今日的課題を取り上げ、それに関する指導方法を検討しながら、学校現場における実践的な学習指導について想定できるようにする。	平常点、レポート、課題発表により総合的に評価する。
EM2014 教育基礎研究	2	前期 火 9-10	吉田 浩之 准教授	生徒指導の今日的課題を取り上げ、それに対応する実際の指導方法例を示しながら、学校現場における実践的指導について具体的に想定できるようにする。	平常点、レポート、課題発表により総合的に評価する。

初等教育関連科目

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時 限 等	担 当 教 員	内 容	成 績 評 価 基 準
EM2101 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 月 7-8	小林 正行 准教授	小学校国語で扱われる言語事項について解説する。	平常点，レポートにより評価する。
EM2102 ----- 小学校教科内容研究	2	前期 木 3-4	小林 英樹 教授	小学校国語で扱われる言語事項について解説する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM2103 ----- 小学校教科内容研究	2	前期 金 1-2	藤森健太郎 教授 青山 雅史 准教授	小学校社会で扱われる歴史・地理・公民的事項について，取り上げながらその基礎となる考え方を学ぶ。	平常点，レポートにより評価する。
EM2104 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 木 3-4	今井 就稔 准教授 小谷 英生 准教授	小学校6年で学習する歴史分野と国際関係分野について，具体的な事項を取り上げながら，その基礎となる考え方を学ぶ。	平常点，レポートにより評価する。
EM2105 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 月 3-4	伊藤・照屋・ 山本・石井	数Ⅲの内容を理解していることを前提とし，算数の背後にある数学概念を数学の専門的視点を通して，見直すことを目標とする。 ・足し算，掛け算といった「演算」の本質を群，環，体などの代数系の面から考察する。 ・ユークリッド幾何とは図形の何をどのように扱うものであるのかを，非ユークリッド幾何学との対比により再考する。 ・極限概念を用いて実数を再構築する。	レポート・試験等によって総合的に評価する。
EM2106 ----- 小学校教科内容研究	2	前期 月 3-4	佐野・岸岡・ 岩崎・青木・ 佐藤・大谷	オムニバス形式により，実務家教員と理科の各分野（物理，化学，生物，地学）の教員が，実験・観察を取り入れながら，小学校理科で扱われている内容について講義する	各教員からの成績を総合して評価する。
EM2107 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 火 5-6	佐野・寺嶋・ 日置・早川・ 大谷	オムニバス形式により，実務家教員と理科の各分野（物理，化学，生物，地学）の教員が，実験・観察を取り入れながら，小学校理科で扱われている内容について講義する	各教員からの成績を総合して評価する。
EM2108 ----- 小学校教科内容研究	2	前期 月 9-10	中里 南子 准教授	小学校音楽の授業において必要とされる基礎的・発展的な知識・演奏技能を習得し，その指導法についての講義，演習を行います。	筆記試験および実技試験による評点と、課題への取り組み方により評価します。
EM2109 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 月 5-6	吉田 秀文 教授	小学校音楽の授業において必要とされる基礎的・発展的な知識・演奏技能を習得し，その指導法についての講義・演習を行います。	筆記試験および実技試験による評点と、課題への取り組み方，発表の出来映え等により評価します。

初等教育関連科目

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時 限 等	担 当 教 員	内 容	成 績 評 価 基 準
EM2110 ----- 小学校教科内容研究	2	前期 火 3-4	茂木 一司 教授 春原 史寛 准教授 郡司 明子 准教授	小学校図画工作科の教科内容の基礎となる知識や技能を講義・演習を通して学び、新しい図画工作科の教科構造・内容や題材を検討する。	授業への参加状況、提出物、課題のプレゼンテーションなどを総合的に評価する。
EM2111 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 火 5-6	林 耕史 教授 齋江 貴志 准教授 喜多村徹雄 准教授	小学校図画工作科の教科内容の基礎となる知識や技能を講義・演習を通して学び、新しい図画工作科の教科構造・内容や題材を検討する。	授業への参加状況、提出物、課題のプレゼンテーションなどを総合的に評価する。
EM2112 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 金 5-6	中雄 勇人 准教授 未定	新学習指導要領では、心と体をより一体としてとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを意図している。小学校期では、基礎的な身体能力を身に付け、実生活において運動を豊かに実践していくための資質や能力の基礎を培うことを目標とされている。本講義では、体育原理や体育史、体育心理学、そして運動生理学の各領域から上記の目標を達成する上での、授業の背景や展開、そして指導上の配慮等についての理解を深める。	プレゼン、ディスカッション、レポートなどをもとに総合的に成績評価を行う。
EM2113 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 月 1-2	新井 淑弘 教授	小学校における保健学習、保健指導の内容について概説を行い、現在行われている保健教育について考察を行う。さらに、新しい保健教育の課題についての学習を通して、今後必要となる学習内容について検討を行う。	授業への参加状況、授業レポートおよび、まとめレポートを総合的に評価する。
EM2114 ----- 小学校教科内容研究	2	前期 月 9-10	西菌 大実 教授 田中 麻里 教授 前田亜紀子 准教授	小学校家庭科の教科内容の背景にある知識および考え方を衣・食・住・家庭経営などの領域から学ぶ。	出席状況、ディスカッションへの参加状況、課題への取り組み状況、レポート等を総合的に評価する。
EM2115 ----- 小学校教科内容研究	2	後期 火 5-6	上里 京子 教授 小林 陽子 准教授	小学校家庭科の教科内容の背景にある知識および考え方を家庭経営などの領域から学ぶ。	出席状況、ディスカッションへの参加状況、レポート等を総合的に評価する。

中等教育関連科目（国語）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3001 国語科教育学研究	2	前期 金 7-8	濱田 秀行 准教授	事例研究を通して教室での言葉の学習について理解を深める。	議論への参加状況とレポートから総合的に判断する。
EM3002 国語科教育学研究	2	前期 金 5-6	河内 昭浩 准教授	国語科教育学の基礎理論について検討する。	議論への参加状況とレポートから総合的に判断する。
EM3003 国語科内容研究	2	前期 金 3-4	藤本 宗利 教授	代表的古典教材を見直す。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3004 国語科内容研究	2	★	藤本 宗利 教授	『源氏物語』の教材としての扱い方を考察する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3005 国語科内容研究	2	★	藤本 宗利 教授	『枕草子』の教材としての可能性を考察する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3006 国語科内容研究	2	★	藤本 宗利 教授	和歌の教材としての可能性を考察する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3011 国語科内容研究	2	★	小林 正行 准教授	日本語文法史の研究論文の講読と文法史の教育のあり方について考察する。	平常点1：レポート1の比で評価する。
EM3012 国語科内容研究	2	★	小林 正行 准教授	日本語史の資料講読（中世）を行い、教材としての可能性を考察する。	平常点1：発表1：レポート1の比で評価する。
EM3013 国語科内容研究	2	後期 月 5-6	小林 正行 准教授	日本語語彙史の研究論文の講読と語彙史の教育のあり方について考察する。	平常点1：レポート1の比で評価する。

中等教育関連科目（国語）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3014 国語科内容研究	2	★	小林 正行 准教授	日本語史の資料講読（近世）を行い、教材としての可能性を考察する。	平常点1：発表1：レポート1の比で評価する。
EM3015 国語科内容研究	2	後期 木 5-6	小林 英樹 教授	現代日本語の語彙・文法について概説する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3016 国語科内容研究	2	★	小林 英樹 教授	現代日本語の語彙・文法について概説する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3017 国語科内容研究	2	★	小林 英樹 教授	現代日本語の語彙・文法について概説する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3018 国語科内容研究	2	★	小林 英樹 教授	現代日本語の語彙・文法について概説する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3019 国語科内容研究	2	★	永由 徳夫 教授	日中の書論・書道史について概説する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3020 国語科内容研究	2	★	永由 徳夫 教授	書道史研究に関して検討・考察する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3021 国語科内容研究	2	後期 火 5-6	永由 徳夫 教授	主要な日中書論を講読する。	発表1：平常点1の比で評価する。
EM3022 国語科内容研究	2	★	永由 徳夫 教授	日中書論の連関について精査する。	発表1：平常点1の比で評価する。

中等教育関連科目（国語）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3031 特別研究	1	前期 金 9-10	藤本 宗利 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3032 特別研究	1	後期 金 9-10	藤本 宗利 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3033 特別研究	1	前期 金 9-10	小林 英樹 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3034 特別研究	1	後期 金 9-10	小林 英樹 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3035 特別研究	1	前期 金 9-10	永由 徳夫 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3036 特別研究	1	後期 金 9-10	永由 徳夫 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3037 特別研究	1	前期 金 9-10	濱田 秀行 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	

中等教育関連科目（国語）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3038 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	濱田 秀行 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3039 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	小林 正行 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3040 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	小林 正行 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3041 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	河内 昭浩 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
EM3042 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	河内 昭浩 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	
----- -----					
----- -----					
----- -----					
----- -----					

中等教育関連科目（社会）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3101 社会科教育学研究	2	後期 木 3-4	中尾 敏朗 准教授	社会科・地理歴史科教育の著書や論文を講読し、課題の検討を行う。	平常点とレポートによる。
EM3102 社会科教育学研究	2	後期 火 3-4	宮崎 沙織 准教授	社会科・公民科教育の著書や論文を講読し、社会科・公民科教育の課題の検討を行う。	平常点とレポートによる。
EM3103 社会科内容研究	2	前期 火 3-4	藤森健太郎 教授	日本古代～中世史について、研究動向を意識しつつ教育実践を深めるための知識の考察を探る。	報告等平常点による。
EM3104 社会科内容研究	2	★	藤森健太郎 教授		
EM3105 社会科内容研究	2	前期 木 1-2	今井 就稔 准教授	中国近現代史・日中関係史関係で近年刊行された文献や関連史料を中心に講読し、当該分野に対する理解を深め、教育現場への還元について考えていきたい。	平常点とレポートによる。
EM3106 社会科内容研究	2	★	今井 就稔 准教授		
EM3107 社会科内容研究	2	★			
EM3108 社会科内容研究	2	★			
EM3109 社会科内容研究	2	後期 月 7-8	関戸 明子 教授	特定の地域について、フィールドワークを含む調査を行い、報告書を作成する。	平常点、レポートにより評価する。

中等教育関連科目（社会）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3110 社会科内容研究	2	前期 火 9-10	関戸 明子 教授	人文地理学に関する研究動向をふまえた上で、さまざまなテーマを取り上げ、社会科地理的分野での教育実践に活用する方法について考える。	平常点、レポートにより評価する。
EM3111 社会科内容研究	2	★	青山 雅史 准教授		
EM3112 社会科内容研究	2	後期 木 7-8	青山 雅史 准教授	自然環境や自然災害に関する基礎的な分析手法、学校教育における地図の活用方法などを身に付ける。防災・減災のあり方などについても考察する。	平常点、レポートにより評価する。
EM3113 社会科内容研究	2	前期 金 5-6	斎藤 周 教授	憲法が現代社会において果たしている役割を解明する。人権保障については、種々の人権を貫く発想を知り、それぞれの人権の意義を把握する。統治機構については、権力分立の意義に照らして、制度のあり方を考える。	平常点とレポートによる。
EM3114 社会科内容研究	2	後期 木 5-6	斎藤 周 教授	最新の法律問題を取り上げ検討を加える。	平常点とレポートによる。
EM3115 社会科内容研究	2	★			
EM3116 社会科内容研究	2	★			
EM3117 社会科内容研究	2	★	豊泉 周治 教授		
EM3118 社会科内容研究	2	前期 月 5-6	豊泉 周治 教授	現代の社会問題に関する購読。報告と討論を中心にすすめる。	平常点とレポート

中等教育関連科目（社会）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3119 社会科内容研究	2	後期 金 3-4	小谷 英生 准教授	民主主義の倫理性について、教育のあり方と関連づけながら議論する。	発表と議論の質（積極性など）を評価する。
EM3120 社会科内容研究	2	前期 金 3-4	小谷 英生 准教授	購読とディスカッション	通常授業への参加と口頭試問による。
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3131 特別研究	1	前期 金 9-10	豊泉 周治 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3132 特別研究	1	後期 金 9-10	豊泉 周治 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3133 特別研究	1	前期 火 9-10	齋藤 周 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3134 特別研究	1	後期 火 9-10	齋藤 周 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3135 特別研究	1	前期 金 9-10	関戸 明子 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。

中等教育関連科目（社会）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3136 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	関戸 明子 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3137 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	藤森健太郎 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3138 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	藤森健太郎 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3141 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	今井 就稔 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3142 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	今井 就稔 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3143 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	宮崎 沙織 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3144 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	宮崎 沙織 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3145 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	小谷 英生 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3146 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	小谷 英生 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。

中等教育関連科目（社会）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3147 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	青山 雅史 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3148 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	青山 雅史 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3149 ----- 特別研究	1	前期 木 3-4	中尾 敏朗 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。
EM3150 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	中尾 敏朗 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究方法を指導する。	平常点とレポートによる。

中等教育関連科目（英語）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3201 英語科教育学研究	2	前期 火 9-10	上原 景子 教授	外国語としての英語教育をより専門的な視点から実践するために不可欠な理論的な背景を考える。そのために、「言語習得」「言語の理解」「言語の産出」に関する第一言語および第二言語の先行研究を基に、今日国際的に追及されている主な問題を取り上げる。また、日本の英語教育とこうした問題の関係や、先行研究の成果の実践への応用方法を追求する。本授業は全て英語で行う。	本授業で取り上げた問題に精通し自分の観点を築くこと、ディスカッションや発表に積極的に参加することなどを主な基準として総合的に評価する。
EM3202 英語科教育学研究	2	★	上原 景子 教授	外国語としての英語教育における実践成果をより専門的な観点から検証するために不可欠な知識と技能を身につける。そのために、「言語習得」「言語の理解」「言語の産出」に関する科学的な実験・調査とその成果を記した先行研究のうち、国際的に高い評価を受けているものを研究する。それらを基に、各自が興味を持つトピックに焦点化して検証方法を考案する。本授業は全て英語で行う。	本授業で取り上げた問題に精通し自分の観点を築くこと、ディスカッションや発表に積極的に参加することなどを主な基準として総合的に評価する。
EM3203 英語科教育学研究	2	後期 木 9-10	Hoogenboom, Raymond 准教授	This course investigates many of the key general areas that primary and secondary school English teachers in Japan must navigate as they develop themselves within current and future L2 English education systems. Enrollees will read, present, and discuss article handouts from journals and other texts on L2 learning/teaching. Practical topics include learner contexts and variables, curriculum design, the four basic skills, fluency vs. accuracy, motivation, and identity.	Enrollees/Participants will be assessed according to quality of course work, participation, and exam result.
EM3204 英語科教育学研究	2	★	Hoogenboom, Raymond 准教授	This course is an expansion/continuation of 「英語科教育実践論A」.	Enrollees/Participants will be assessed according to quality of course work, participation, and exam result.
EM3205 英語科教育学研究	2	前期 月 5-6	渡部 孝子 教授	幼稚園から大学までの英語教育について、日本と諸外国の英語教育政策およびカリキュラムを比較しながら、グローバル人材育成という視点から英語教育のカリキュラム開発について学ぶ。	毎回の小レポートと最終レポートにより総合的に評価する。
EM3206 英語科内容研究	2	★	柴田知薫子 准教授	子どもが音韻規則を習得する過程について考察する。	1. 授業への貢献度 2. レポートの完成度
EM3207 英語科内容研究	2	後期 木 7-8	柴田知薫子 准教授	音韻論と統語論、音韻論と語用論とのインターフェイスに存在する問題を発掘する。	1. 授業への貢献度 2. レポートの完成度
EM3208 英語科内容研究	2	前期 月 3-4	山田 敏幸 講師	生成統語論の入門。授業の主要テーマは、高度な科学的思考力を養い、自立した研究者として、理論的な分析を提案する力を身につけること。生成文法の基本的な考え方、句構造規則、レキシコン、Xバー理論、普遍文法、原理・パラメータアプローチ、極小主義などを扱う予定。後半にはチョムスキーの最近の論考(Chomsky, 2016など)を概観する。 【注意】この授業は、同年度に英語科内容研究C(文法論)(前期月3-4時限に開講)と英語科内容研究D(文法論)(後期月7-8時限に開講)を連続して履修することによって、4単位を認定する。	授業への取り組みと宿題課題、及び期末課題により総合的に評価する。
EM3209 英語科内容研究	2	後期 月 7-8	山田 敏幸 講師	前期の続き。 【注意】英語科内容研究C(文法論)を履修した者しか履修できない。	授業への取り組みと宿題課題、及び期末課題により総合的に評価する。

中等教育関連科目（英語）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3210 英語科内容研究	2	前期 火 1-2	宮本 文 准教授	アメリカの小説あるいは詩を読んで文学的な読解力と異文化に対する理解を養うとともに、英語力の向上を目指す。	発表、ディスカッションへの参加および最終レポートで総合的に評価する。
EM3211 英語科内容研究	2	★	宮本 文 准教授	アメリカの小説あるいは詩を読んで文学的な読解力と異文化に対する理解を養うとともに、英語力の向上を目指す。	発表、ディスカッションへの参加および最終レポートで総合的に評価する。
EM3212 英語科内容研究	2	★	金田 仁秀 准教授	イギリス文学作品や論説、批評などを読むことで、高度な英語運用能力を養いながら、多角的な視点から社会の問題を考察する力を身につけることを目標とする。文献としては、主に19世紀後半から20世紀初めのイギリスにおけるlesbianとgayに纏わるものとsexualityに関する様々な理論を取り上げ、当時の性の言説と理論的視座を理解することを通して、現代における性の問題を読み解く。	授業中の課題と期末のレポートを総合的に評価する。
EM3213 英語科内容研究	2	後期 木 1-2	金田 仁秀 准教授	イギリス文学作品や論説、批評などを読むことで、高度な英語運用能力を養いながら、多角的な視点から社会の問題を考察する力を身につけることを目標とする。文献としては、主に19世紀後半から20世紀初めのイギリスにおけるlesbianとgayに纏わるものとsexualityに関する様々な理論を取り上げ、当時の性の言説と理論的視座を理解することを通して、現代における性の問題を読み解く。	授業中の課題と期末のレポートを総合的に評価する。
EM3214 英語科内容研究	2	後期 月 5-6	田中 一嘉 准教授	英語学の枠を超えた広い視野から英語を捉えなおす。特にドイツ語学の研究成果を参考にして、英語学では接する機会が少ない分野を取り上げ、ドイツ語・日本語と比較しながら、言語の普遍性と英語の個別性を浮き彫りにする。また、言語は人間の認知システムの反映であるという観点から、ことばと文化の問題も扱う。	評価は学期末の学生による口頭発表に、授業への取り組みを加味し、総合的に判断する。
EM3215 英語科内容研究	2	★	田中 一嘉 准教授	英語学の枠を超えた広い視野から英語を捉えなおしながら、同時に日本における英語の初級教育と、英語以外の外国語(特にドイツ語)の初級教育とを比較検討する。それぞれが抱える諸問題を整理したうえで、言語研究の成果をいかに初級教育に還元するか、というテーマに「異文化理解」という観点を加味して対峙する。	評価は学期末の学生による口頭発表に、授業への取り組みを加味し、総合的に判断する。
EM3216 英語科内容研究	2	★	三原 智子 准教授	フランスにおいて影響力をもつ批評家・思想家のテキストを読み（日本語訳・英訳）、そこに描かれる法律・教育制度・宗教を、日本のものと比較考察する。	毎回の発表と学期末のレポートにより評価する。
EM3217 英語科内容研究	2	前期 火 5-6	三原 智子 准教授	フランスにおいて影響力をもつ批評家の作品を読む(日本語訳・英語訳)。異なる視点に立ち世界を眺めることを目標とする。	授業中の発表と期末時のレポートにより総合的に判断する。
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	提出物、レポートを総合的に評価する。

中等教育関連科目（英語）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3231 特別研究	1	前期 木 5-6	上原 景子 教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3232 特別研究	1	後期 火 1-2	上原 景子 教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3233 特別研究	1	前期 木 9-10	田中 一嘉 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3234 特別研究	1	後期 木 9-10	田中 一嘉 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3235 特別研究	1	前期 金 5-6	渡部 孝子 教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3236 特別研究	1	後期 火 5-6	渡部 孝子 教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3237 特別研究	1	前期 火 9-10	三原 智子 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3238 特別研究	1	後期 火 9-10	三原 智子 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。

中等教育関連科目（英語）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3239 ----- 特別研究	1	前期 木 9-10	柴田知薫子 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3240 ----- 特別研究	1	後期 木 9-10	柴田知薫子 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3241 ----- 特別研究	1	前期 火 1-2	宮本 文 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3242 ----- 特別研究	1	後期 火 3-4	宮本 文 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3243 ----- 特別研究	1	前期 金 3-4	Hoogenboom Raymond 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3244 ----- 特別研究	1	後期 金 3-4	Hoogenboom Raymond 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3245 ----- 特別研究	1	前期 木 3-4	山田 敏幸 講師	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3246 ----- 特別研究	1	後期 木 3-4	山田 敏幸 講師	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。
EM3247 ----- 特別研究	1	前期 木 9-10	金田 仁秀 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。

中等教育関連科目（英語）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3248 特別研究	1	後期 木 9-10	金田 仁秀 准教授	各自の研究課題に即して、課題設定、資料研究、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	出席、提出物、レポートを総合的に評価する。

中等教育関連科目（数学）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3301 ----- 数学教育学研究	2	前期 集中	森本 明 非常勤講師	本講義では、数学教育学研究の基礎理論として、数学的コミュニケーション論を学ぶ。本講義の目的は、思考と表現、理解認知過程、情意と学習の問題、新しいアイデアの創発過程等、現代の数学教育学研究の中心的な課題をコミュニケーションというキーワードを基に考察する能力を育成することである。	授業への参加意欲、授業分析のレポート等を総合的に評価する。
EM3302 ----- 数学教育学研究	2	後期 火 7-8	澤田 麻衣子 准教授	本講義では、数学教育学研究の基礎理論として、数学的コミュニケーション論を学ぶ。本講義の目的は、思考と表現、理解認知過程、情意と学習の問題、新しいアイデアの創発過程等、現代の数学教育学研究の中心的な課題をコミュニケーションというキーワードを基に考察する能力を育成することである。	授業への参加意欲、授業分析のレポート等を総合的に評価する。
EM3303 ----- 数学科内容研究	2	★	石井 基裕 講師	小・中・高における代数分野の理解を深めるための代数学について講義する。 (奇数年開講)	レポートや応答を通しての理解度などを総合的に評価する。
EM3304 ----- 数学科内容研究	2	前期 月 7-8	石井 基裕 講師	中・高の授業では直接教えることはないが、経験的に生徒が了解していること、例えば整数の素因数分解の一意性などについてきちんと理解することを目標とするとともに、それらを発展した代数についても学び、応用として魔方陣の作成などについても考える。(偶数年開講)	レポートや応答を通しての理解度などを総合的に評価する。
EM3306 ----- 数学科内容研究	2	前期 集中	大竹 公一郎 非常勤講師	整数と暗号について解説する。(偶数年開講)	発表、レポート、試験を総合して評価する。
EM3307 ----- 数学科内容研究	2	★	山本 亮介 准教授	位相幾何学の考え方について、小・中・高校への導入を考察する。(奇数年開講)	討論、発表、レポートにより総合的に評価する。
EM3308 ----- 数学科内容研究	2	前期 金 1-2	山本 亮介 准教授	微分幾何学の考え方について、小・中・高校への導入を考察する。(偶数年開講)	討論、発表、レポートにより総合的に評価する。
EM3309 ----- 数学科内容研究	2	★	伊藤 隆 教授	実数の持つ性質が、函数概念の中でどのような役割を演じるか考察する。(奇数年開講)	発表、レポート、試験を総合して評価する。
EM3310 ----- 数学科内容研究	2	後期 火 1-2	伊藤 隆 教授	円周率の計算法を歴史的発展の経過とともに解説する。特に、I.アルキメデスに始まる円に内外接する正多角形の周の長さを求める方法、II.ニュートン、ライプニッツに始まる解析的方法、III.コンピューターに用いられる現代の計算法、の3方法を中心に、円周率を記述する公式を紹介する。また、数の中で、円周率の持つ数学的特性にも触れてみたい。(偶数年開講)	発表、レポート、試験を総合して評価する。

中等教育関連科目（数学）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3311 数学科内容研究	2	★	照屋 保 教授	標準的な関数解析学の内容を解説し、確率論、微分方程式などへの応用を考察する。（奇数年開講）	発表、レポート、試験を総合して評価する。
EM3312 数学科内容研究	2	前期 月 1-2	照屋 保 教授	関数解析学的視点からフーリエ解析を考察する。（偶数年開講）	発表、レポート、試験を総合して評価する。
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3335 特別研究	1	前期 月 1-2	伊藤 隆 教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3336 特別研究	1	後期 月 1-2	伊藤 隆 教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3341 特別研究	1	前期 金 5-6	照屋 保 教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3342 特別研究	1	後期 金 5-6	照屋 保 教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3343 特別研究	1	前期 木 7-8	山本 亮介 准教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。

中等教育関連科目（数学）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3344 ----- 特別研究	1	後期 木 7-8	山本 亮介 准教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3345 ----- 特別研究	1	前期 木 7-8	石井 基裕 講師	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3346 ----- 特別研究	1	後期 木 7-8	石井 基裕 講師	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3347 ----- 特別研究	1	後期 木 7-8	澤田 麻衣子 准教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。
EM3348 ----- 特別研究	1	後期 木 7-8	澤田 麻衣子 准教授	各自の研究課題に則して、研究の方法を指導する。	総合的に評価する。

中等教育関連科目（理科）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3401 理科教育学研究	2	前期 木 3-4	益田 裕充 教授 栗原 淳一 准教授	児童・生徒の科学的な見方や考え方を育成するためのカリキュラム開発について論じる。諸外国の教育制度のもとにある理科カリキュラム（米国・英国等）を教科書を通して比較・調査・検討し、日本の理科カリキュラムについて考察する。	課題に対する発表とプレゼンテーション等により評価する。
EM3402 理科教育学研究	2	後期 木 5-6	栗原 淳一 准教授	理科授業において、児童・生徒の素朴な考えを科学的な概念に変容させる方略や資質・能力を育成する方略について具体的に検討する。	課題に対する発表により評価する。
EM3403 理科内容研究	2	前期 火 1-2	青木 悠樹 講師	中学校理科で粒子モデルとして扱う気体の状態に関して、ミクロな観点からスタートしマクロな性質を捉えるための統計力学の基礎を学ぶ。	授業内での発表、議論により評価する。
EM3404 理科内容研究	2	後期 火 1-2	青木 悠樹 講師	中学校理科で粒子モデルとして扱う三態状態に関して熱統計力学の観点からそれぞれの状態を理解し、特に固体結晶の核生成、成長機構、平衡形について学ぶ。	授業内での発表、議論により評価する。
EM3405 理科内容研究	2	前期 金 3-4	寺嶋 容明 准教授	小中学校理科におけるエネルギーの取り扱いに関連して、原子力によるエネルギー資源の有効利用をより深く理解するため、それらの基礎となる質量とエネルギーの関係を導く相対性理論について学ぶ。また、そのような過程を通して、小中学校理科における物理分野の内容をより専門的な視点から理解し、児童・生徒に対して科学的に正確な説明ができるようになることを目指す。	授業への参加度と内容の理解度により評価する。
EM3406 理科内容研究	2	後期 金 3-4	寺嶋 容明 准教授	小中学校理科における粒子の取り扱いに関連して、原子・分子の性質をより深く理解するため、それらを構成しているクォークや電子といった素粒子について学ぶ。また、そのような過程を通して、小中学校理科における物理分野の内容をより専門的な視点から理解し、児童・生徒に対して科学的に正確な説明ができるようになることを目指す。	授業への参加度と内容の理解度により評価する。
EM3407 理科内容研究	2	前期 金 7-8	日置 英彰 教授	生体を構成している物質をはじめ、身の回りには多くの有機物質があふれている。この性質を理解するためには、有機分子の特徴を理解し、それらの反応を暗記ではなく論理的に理解する必要がある。本講義では有機化学を有機電子論の立場から解説し、理科教員として児童、生徒に有機化合物の性質やその変化についてやさしく、かつ論理的に解説できる力をつけることを目標とする。	成績は課題に対する発表とレポートにより評価する。
EM3408 理科内容研究	2	後期 木 7-8	日置 英彰 教授	物質の変化とそれに伴うエネルギー変化について、小中高等学校では多くの事象を取り扱う。これらの事象を体系的に理解するためには物理化学的な考え方が不可欠である。本講義では物質の変化とエネルギーの関係を化学熱力学の立場から解説し、理科教員として、児童生徒に該当する単元についてやさしく、かつ論理的に解説できる力をつけることを目標とする。	成績は課題に対する発表とレポートにより評価する。
EM3409 理科内容研究	2	前期 木 3-4	岸岡 真也 准教授	本講義では小中学校で扱う溶液の性質を体系的に説明できることを目標とする。特に、活量、化学反応速度論、電極反応を中心に、小学校から高等学校まで取り上げられている酸性・塩基性などについても考察する。	発表とレポートにより評価する

中等教育関連科目（理科）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3410 理科内容研究	2	後期 火 1-2	岸岡 真也 准教授	本講義の目的は小中学校で扱う化学が関わる自然現象を理解するための測定・解析法を身につけることである。計測に関する基本的概念としての前処理法について取り扱い、機器分析装置の原理や特性について説明する。	発表とレポートにより評価する
EM3411 理科内容研究	2	前期 金 3-4	佐藤 綾 講師	小学校、中学校、高校のそれぞれで扱う生物学の内容について理解するとともに、最新の生物学の話題について取り上げる。そして、それぞれの学習内容や既習知識に合わせて、最新の生物学に関する話題を授業の導入や展開へ取り入れるための検討を行い、児童生徒の興味関心を高めるための手法について議論する。	授業内での発表、議論、提出物により評価する。
EM3412 理科内容研究	2	後期 集中	佐藤 綾 講師	小学校、中学校、高校の生物分野において、各単元での導入や実験に関する検討、議論を行い、模擬授業を実施する。それらを通じ、理科の授業を行なう際、実感や経験を伴った興味や理解を促すためどのような工夫が必要か、実践と議論を通じて考える。	授業内での発表、議論、提出物により評価する。
EM3413 理科内容研究	2	前期 火 7-8	佐野 史 教授	学校教育で学ぶべき植物の生理現象について整理を行い、それぞれの現象を理解する上で必要な知識を植物形態学から分子生物学まで幅広く概説し、議論することで、今日の植物の繁栄をもたらした背景を理解し、理科の授業に落とし込む方策を立てることを目標とする。	成績はレポートの内容で評価する。
EM3414 理科内容研究	2	後期 火 9-10	佐野 史 教授	植物生理学などの論文に関して、記述されている方法に基づいて実際に実験や観察を行い、結果をレポートにまとめる。これらの作業により、植物生理学を含む生物学の内容をより実感を持って把握するとともに、学校現場において探究活動や課題研究を実践的に指導する技能を培うことを授業目標とする。	成績はレポートの内容で評価する。
EM3415 理科内容研究	2	前期 金 1-2	早川由紀夫 教授	小学校で教えるべき地学の内容と方法論を取り扱う。学習指導要領を尊重しつつも、それに縛られることなく自由に学校地学のあり方を考える。小学3-6年までの4か年に渡る地学カリキュラム試案を作成することを目標とする。	カリキュラム試案レポートの提出を求めて、それで評価する。
EM3416 理科内容研究	2	後期 木 3-4	早川由紀夫 教授	中学校で教えるべき地学の内容と方法論を取り扱う。学習指導要領を尊重しつつも、それに縛られることなく自由に学校地学のあり方を考える。中学3か年に渡る地学カリキュラム試案を作成することを目標とする。	カリキュラム試案レポートの提出を求めて、それで評価する。
EM3417 理科内容研究	2	前期 月 1-2	岩崎 博之 教授	小中学校の理科で扱う気象分野に関係する教材を開発する技術を身につけ、それを用いた授業展開を考案できる能力を培うことが目標である。	レポートと発表で成績を付ける。
EM3418 理科内容研究	2	後期 月 1-2	岩崎 博之 教授	中学校の理科で扱う気象分野の授業を、9年間の義務教育の中での位置づけを理解した上で、計画立案するための授業である。	レポートと発表で成績を付ける。

中等教育関連科目（理科）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3419 理科内容研究	2	後期 木 3-4	大谷 龍二 准教授	理科の各分野（物理・化学・生物・地学）から重要とされる単元を取り上げ、授業で必要とされる知識や技能の拡充を図り、各分野を横断した教科指導力の向上を目指す。	実習の様子、レポート、授業準備の程度から評価する。
特別研究	1	前期	専任 教員	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
特別研究	1	後期	専任 教員	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3431 特別研究	1	前期 木 9-10	早川由紀夫 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3432 特別研究	1	後期 木 9-10	早川由紀夫 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3433 特別研究	1	前期 月 11-12	岩崎 博之 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3434 特別研究	1	後期 金 11-12	岩崎 博之 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3435 特別研究	1	前期 金 9-10	日置 英彰 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3436 特別研究	1	後期 金 9-10	日置 英彰 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。

中等教育関連科目（理科）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3437 ----- 特別研究	1	前期 木 7-8	益田 裕充 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3438 ----- 特別研究	1	後期 木 7-8	益田 裕充 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3439 ----- 特別研究	1	前期 月 9-10	佐野 史 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3440 ----- 特別研究	1	後期 月 9-10	佐野 史 教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3441 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	寺嶋 容明 准教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3442 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	寺嶋 容明 准教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3443 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	岸岡 真也 准教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3444 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	岸岡 真也 准教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3445 ----- 特別研究	1	前期 火 7-8	栗原 淳一 准教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。

中等教育関連科目（理科）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3446 特別研究	1	後期 火 7-8	栗原 淳一 准教授	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3447 特別研究	1	前期 火 9-10	青木 悠樹 講師	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3448 特別研究	1	後期 火 9-10	青木 悠樹 講師	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3449 特別研究	1	前期 金 9-10	佐藤 綾 講師	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。
EM3450 特別研究	1	後期 金 9-10	佐藤 綾 講師	修士論文を2年間でまとめることを目指して、計画立案から実験・観察を経て考察・まとめに至る過程を個別指導する。	随時提出を求めるレポートや口頭発表の内容によって評価する。

中等教育関連科目（技術）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3501 技術科教育学研究	2	前期 木 3-4	小熊 良一 講師	技術科教育について、技術科教育の理念と歴史、諸外国の技術教育と我が国の技術教育を比較して論じる。さらに教育実践の視点から、具体的な教材により、指導計画と教育課程、教材の開発と活用、内容分析、安全教育を検討し、教育内容の構造化と評価について論じる。	レポート
EM3502 技術科教育学研究	2	前期 木 5-6	小熊 良一 講師	技術科教育と関連付けた工業化教育について、日本と欧米の技術科・工業科教育と比較して論じる。さらに、教育実践の視点から、具体的な教材を取り上げ、教材の内容分析と構造化の手法、指導計画の立案、施設・設備の確認、機械・工具と素材の準備、指導書の作成、安全教育、授業の実施・評価について論じる。	レポート
EM3503 技術科内容研究	2	前期 月 7-8	古田 貴久 准教授	各種センサの特性と使い方を学び、「計測と制御」分野の教材開発を行う。	レポート
EM3504 技術科内容研究	2	後期 火 5-6	古田 貴久 准教授	教育情報の統計的処理。経時的な評価データや、複数のテストの得点などを互いに関連づけた分析法の講義と演習を行う。	レポート
EM3505 技術科内容研究	2	前期 火 5-6	片柳 雄大 講師	電気の発電と消費について論じる。まず、水力・火力・太陽光などの各種発電方法の特徴とエネルギー変換のしくみについて概説する。次に、電気エネルギーと力学エネルギーとの変換装置である電動機および発電機について論じる。また、電気保安および近年の電気エネルギー事情について議論する。	レポート
EM3506 技術科内容研究	2	後期 月 5-6	片柳 雄大 講師	電気・電子応用機器について論じる。具体的には、電気エネルギーと、光・熱・音エネルギーとの相互変換を行う電気・電子応用機器について考察を行う。また、基本的な半導体素子であるダイオードとトランジスタについて概説する。	レポート
EM3507 技術科内容研究	2	前期 金 3-4	楠元 一臣 教授	金属の切断や溶接で発生する加工現象と加工品質との関連性について論じる。具体的には加工部の機械的特性、材料特性、割れや欠陥、スパッタ現象、ヒューム発生、加工音などを取り上げる。さらに、加工部の代表的な非破壊検査法について論じる。	レポート
EM3508 技術科内容研究	2	後期 金 1-2	楠元 一臣 教授	様々な工業材料の加工法や加工原理、加工機器などについて論じる。具体的には機械エネルギー、熱エネルギー、電気エネルギー、光エネルギーを用いた加工法の特徴を比較するとともに、それぞれの最適加工法について論じる	レポート
EM3509 技術科内容研究	2	前期 火 3-4	小熊 良一 講師	材料加工の性質と加工の原理、加工法、安全面について主に木材加工で行われる加工のカリキュラム内容を通して理解する。その上で、中学校現場に即した加工の実践的指導能力の育成を学習者の認知過程と発達段階を考慮し研究する。	レポート

中等教育関連科目（技術）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3510 技術科内容研究	2	後期 火 3-4	小熊 良一 講師	ものづくりの考案手法,力学と材料力学を活用した強度設計と剛性設計の設計法と評価法,金属・プラスチックなどの各種の素形材の加工法と評価法について論じ,具体的なものづくり題材を取り上げ,設計・製作・性能評価について講義する。	レポート
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度
EM3537 特別研究	1	前期 金 3-4	古田 貴久 准教授	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度
EM3538 特別研究	1	後期 金 3-4	古田 貴久 准教授	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度
EM3539 特別研究	1	前期 月 7-8	片柳 雄大 講師	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度
EM3540 特別研究	1	後期 月 7-8	片柳 雄大 講師	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度
EM3541 特別研究	1	前期 木 3-4	楠元 一臣 教授	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度
EM3542 特別研究	1	後期 木 9-10	楠元 一臣 教授	各自の研究課題に則して,課題設定,資料収集,分析などの研究について指導する。	研究の内容,研究に対する態度

中等教育関連科目（技術）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3543 ----- 特別研究	1	前期 木 7-8	小熊 良一 講師	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究について指導する。	研究の内容、研究に対する態度
EM3544 ----- 特別研究	1	前期 木 7-8	小熊 良一 講師	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析などの研究について指導する。	研究の内容、研究に対する態度

中等教育関連科目（音楽）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3602 音楽科教育学研究	2	後期 火 7-8	中里 南子 准教授	音楽科教育に関する研究方法の理解を基に、今日の研究動向を見つめながら、教育現場における課題解決に向けて論考する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断して評価する。
EM3603 音楽科内容研究	2	★	山崎 法子 准教授	各自で取り上げた声楽作品を中心に、時代背景、詩やリプレットの解釈、楽曲分析、歌唱旋律と伴奏パートの関係などを考察し、楽曲の理解を高め、演奏と教育に役立てる方法を研究する。	授業への積極的な参加、期末の発表（プレゼンテーションと演奏）等から評価する。
EM3604 音楽科内容研究	2	後期 木 5-6	山崎 法子 准教授	各自で取り上げた声楽作品を中心に、時代背景、詩やリプレットの解釈、楽曲分析、歌唱旋律と伴奏パートの関係などを考察し、楽曲の理解を高め、演奏と教育に役立てる方法を研究する。	授業への積極的な参加、期末の発表（プレゼンテーションと演奏）等から評価する。
EM3605 音楽科内容研究	2	前期 木 5-6	三國 正樹 教授	ピアノ作品を演奏する際に必要な技巧を時代別・様式別に研究する。	ピアノ演奏に関して技巧上の問題点を整理し、その解決法を示すこと等から評価する。
EM3606 音楽科内容研究	2	後期 木 7-8	三國 正樹 教授	ピアノ作品を演奏する際に必要な技巧を時代別・様式別に研究する。	ピアノ演奏に関して技巧上の問題点を整理し、その解決法を示すこと等から評価する。
EM3607 音楽科内容研究	2	前期 火 9-10	菅生 千穂 准教授	管楽器及び箏曲を中心とする和楽器について楽器学、歴史の変遷、演奏形態などを考察し、楽曲や教材、指導に関してテーマを決めて研究する。	授業に対する積極性及び理解度、課題達成の程度等を総合的に判断し評価する。
EM3608 音楽科内容研究	2	★	菅生 千穂 准教授	管楽器及び箏曲を中心とする和楽器について楽器学、歴史の変遷、演奏形態などを考察し、楽曲や教材、指導に関してテーマを決めて研究する。	授業に対する積極性及び理解度、課題達成の程度等を総合的に判断し評価する。
EM3609 音楽科内容研究	2	★	西田 直嗣 教授	現代における作曲の意義を考察するとともに、音楽語法の歴史の変遷を具体的に把握し、自らの音楽語法の確立と音楽教育に役立てる方法論を研究する。	研究内容の理解度、課題の達成度、とり組み方を評価します。
EM3610 音楽科内容研究	2	前期 木 3-4	西田 直嗣 教授	現代における作曲の意義を考察するとともに、音楽語法の歴史の変遷を具体的に把握し、自らの音楽語法の確立と音楽教育に役立てる方法論を研究する。	研究内容の理解度、課題の達成度、とり組み方を評価します。

中等教育関連科目（音楽）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3633 特別研究	1	前期 木 1-2	三國 正樹 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3634 特別研究	1	後期 木 9-10	三國 正樹 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3635 特別研究	1	前期 月 7-8	吉田 秀文 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3636 特別研究	1	後期 火 5-6	吉田 秀文 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3637 特別研究	1	前期 水 1-2	西田 直嗣 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3638 特別研究	1	後期 金 1-2	西田 直嗣 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3639 特別研究	1	前期 火 3-4	菅生 千穂 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。

中等教育関連科目（音楽）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3640 ----- 特別研究	1	後期 火 3-4	菅生 千穂 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3641 ----- 特別研究	1	前期 火 7-8	中里 南子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3642 ----- 特別研究	1	後期 月 7-8	中里 南子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3643 ----- 特別研究	1	前期 月 3-4	山崎 法子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。
EM3644 ----- 特別研究	1	後期 火 3-4	山崎 法子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、実技などの研究方法を指導する。	授業に対する意欲や積極性および授業内容の理解度、課題達成の程度などを総合的に判断し評価する。

中等教育関連科目（美術）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3701 美術科教育学研究	2	後期 木 7-8	茂木 一司 教授	現代社会における美術科教育の現状と課題について考察するとともに、これからの社会及び学校教育における美術科教育の意義と役割について論じる。本講義では、美術科教育の歴史、子どもの発達、社会の変化と美術・デザインの変容等に対する理解と、美術科教育の役割等に対するコンセプト・スキルの向上を目標とする。	成績評価は、レポート及び小論文、ディスカッションにおける発言等を総合的に判断して行う。
EM3702 美術科教育学研究	2	後期 火 5-6	郡司 明子 准教授	小・中学校を中心に美術科教育におけるカリキュラム開発の理念・内容・方法・評価について論じるとともに、美術科教育におけるカリキュラムの現状を調査・分析し、情報メディア時代における新しい美術科教育のカリキュラムを作成する。本講義では、小・中学校を中心に美術科教育のカリキュラム開発について理解し、その作成のための基本的な技法を習得することを到達目標にする。	カリキュラム開発に関する理解及び技能を、レポート等で総合的に評価する。
EM3703 美術科内容研究	2	★	喜多村徹雄 准教授	近代以降の美術史を概観することで、絵画や映像芸術に見られる造形表現の変遷が、社会の変化や人々の生活の変容、技術革新などとも密接に関連していることを理解し、今日における絵画や映像表現の位置づけ、意義と可能性について考察する。絵画及び映像表現に対する実践的指導力を支える専門的知識の向上と芸術全般に対する視野の拡大を目標とする。	成績評価は、レポート、学期末試験（小論文）を総合的に判断して行う。
EM3704 美術科内容研究	2	後期 集中	喜多村徹雄 准教授	絵画および映像表現に関する多様な理念や表現方法等について学び、それを実際の制作に適用することを通して、絵画及び映像表現に対する広い視野と専門的知識・技能を得られるようにする。絵画及び映像表現の多様性と造形表現としての特質等について体験的に学修し、教科内容に関する実践的指導力を支える専門的知識の獲得と技能の向上を目標とする。	成績評価は、レポート、制作物、学期末試験（小論文）を総合的に判断して行う。
EM3705 美術科内容研究	2	★	林 耕史 教授	近代以降の彫刻史を概観しながら、美術における彫刻の位置づけ、社会における彫刻の役割や意義について考察する。また、以上の基礎的な考察をふまえて、美術科教育における彫刻（立体造形）分野の教育の意義と可能性、及び教育方法等について理解を深める。彫刻（立体造形）分野の教育に対する実践的指導力のバックボーンとなる専門的知識の向上と視野の拡大を目標とする。	成績評価は、制作及び鑑賞活動への取り組み姿勢、小論文、制作物等を総合的に判断して行う。
EM3706 美術科内容研究	2	前期 木 5-6	林 耕史 教授	造形分野における彫刻の特質と表現の多様性について体験的に学修し、各自の課題に則して考察を深めると共に、教科内容に関する実践的指導力のバックボーンとなる専門的知識の獲得と技能の向上を目標とする。	成績評価は、制作及び鑑賞活動への取り組み姿勢、小論文、制作物等を総合的に判断して行う。
EM3707 美術科内容研究	2	★	齋江 貴志 准教授	近代からのデザイン史を概観し、美術におけるデザインの位置づけ、現代生活で最も身近な造形分野であるデザインの役割や社会的意義について考察する。また、デザインの将来像について分析的に探求する。以上の学修をふまえて、美術教育におけるデザイン分野教育を考察し、理念や理論の構築を目指す。そして、実践的指導力を支える専門的知識の向上と視野の拡大を目標とする。	成績は、授業の取り組み姿勢、レポート・小論文を総合的に判断する。なお、期末に授業をまとめる小論文を課すほか、授業の進捗に合わせレポートの提出を求める。
EM3708 美術科内容研究	2	前期 火 7-8	齋江 貴志 准教授	デザイン分野教育での広い視野と幅広い知識を得て実践へと応用できるよう、主にデザインとしての方法論について探求し、学修する。美術科教育におけるデザイン分野の特質等を調査し、実践的指導力を支える専門知識や技能の獲得と向上、および教科内容に関する発展的思考力の開発を目標とする。	成績は、授業の取り組み姿勢、レポート・小論文を総合的に判断する。なお、期末に授業をまとめる小論文を課すほか、授業の進捗に合わせレポートの提出を求める。
EM3709 美術科内容研究	2	★			

中等教育関連科目（美術）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時 限 等	担 当 教 員	内 容	成 績 評 価 基 準
EM3710 美術科内容研究	2	★			
EM3711 美術科内容研究	2	★	春原 史寛 准教授	近現代日本美術史の多様な作品、思想、動向と、その一般社会における受容の諸相、時代・社会背景と美術との影響関係を学ぶことで、美術の社会性を考察する。この考察を通して、美術史の知識および美術史研究の方法論を鑑賞教育等に具体的に展開できることを目指す。以上をふまえて、教科内容に関する実践的指導力のための専門的知識の獲得と、応用的な思考力の習得を目標とする。	成績評価は、取り組みの姿勢、レポート等を総合的に判断して行う。
EM3712 美術科内容研究	2	後期 木 5-6	春原 史寛 准教授	近現代西洋美術史の多様な作品、思想、動向と、その一般社会における受容の諸相、時代・社会背景と美術との影響関係を学ぶことで、美術の社会性を考察する。この考察を通して、美術史の知識および美術史研究の方法論を鑑賞教育等に具体的に展開できることを目指す。以上をふまえて、教科内容に関する実践的指導力のための専門的知識の獲得と、応用的な思考力の習得を目標とする。	成績評価は、取り組みの姿勢、レポート等を総合的に判断して行う。
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3731 特別研究	1	前期 木 9-10	茂木 一司 教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3732 特別研究	1	後期 木 9-10	茂木 一司 教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3733 特別研究	1	前期 火 5-6	林 耕史 教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3734 特別研究	1	後期 月 3-4	林 耕史 教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。

中等教育関連科目（美術）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3735 特別研究	1	前期 月 9-10	齋江 貴志 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3736 特別研究	1	後期 木 9-10	齋江 貴志 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3737 特別研究	1	前期 木 5-6	郡司 明子 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3738 特別研究	1	後期 木 3-4	郡司 明子 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3739 特別研究	1	★	喜多村徹雄 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3740 特別研究	1	後期 木 3-4	喜多村徹雄 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3741 特別研究	1	前期 火 7-8	春原 史寛 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。
EM3742 特別研究	1	後期 木 9-10	春原 史寛 准教授	各自の研究課題に則して、研究計画の立案、資料収集、実地調査、資料及び調査結果の分析、実技、研究成果のまとめ方などの研究方法を指導する。	研究課題の進捗状況及び成果等を総合的に評価する。

中等教育関連科目（家政）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3801 ----- 家庭科教育学研究	2	前期 火 7-8	上里 京子 教授	家庭科教育の教科理論、教育目標と内容の本質について、国内外の基礎文献の講読や先行研究のレビュー等を通して理解を深め、教科理論と家庭科教育実践を結びつけるための課題を抽出し、課題解決の方向性について討議する。それらを通して、日本の家庭科教育の課題とこれからの方向性について考える。到達目標：日本と欧米の家庭科教育理論の到達点を理解し、家庭科教育研究の方法論を習得する。	ディスカッションへの参加状況、レポート等を総合的に評価する。
EM3802 ----- 家庭科教育学研究	2	前期 集中	小林 陽子 准教授	戦後実践された、あるいは学会等により提案された家庭科カリキュラムについて、背景となるカリキュラム論とその変遷を理解しながら、特徴を考察する。また、実践されたカリキュラムについては、その評価や授業例などを文献等で調べ、成果と問題点について討議する。到達目標：家庭科カリキュラム論とその展開について理解を深め、カリキュラム構成と家庭科で育成する力との関係を考察する。	ディスカッションへの参加状況、レポート等を総合的に評価する。
EM3803 ----- 家庭科教育学研究	2	後期 火 3-4	上里 京子 教授 小林 陽子 准教授	家庭科教育実践に関する文献の講読、授業実践記録などの分析を通して、学習者が生活者として自立し、生活問題の解決を可能とする知識と技術、諸能力（意思決定能力等）を獲得するために必要な授業設計、教育方法、評価のあり方について考える。到達目標：現代の家庭科教育実践上の重要課題（カリキュラム開発、授業開発、指導方法開発等）について理解を深め、課題解決を可能とする知識とスキルを習得する。	ディスカッションへの参加状況、レポート等を総合的に評価する。
EM3804 ----- 家庭科内容研究	2	★ 未定	未定		
EM3805 ----- 家庭科内容研究	2	★ 未定	未定		
EM3806 ----- 家庭科内容研究	2	前期 金 3-4	西菌 大実 教授	中学校家庭科では「地産地消」「フードマイレージ」などの概念が取り上げられるようになった。本講義では、食物の安全性の面と併せて、食物の生産・流通が環境に及ぼす影響について、学校教育にとりあげていくための科学的根拠について検証する。到達目標：食物の選択における、安全面、環境負荷面の科学的かつ客観的な事項を理解し、学校教育に反映する能力を養う。	討議への参加状況、レポート、期末試験により総合的に評価する。
EM3807 ----- 家庭科内容研究	2	後期 金 9-10	西菌 大実 教授	家庭科内容研究C（食物学）で取り上げたテーマについて、関連文献の講読、授業実践の研究などを発表形式で行い、学校教育現場に反映するための理解を深め授業技術の向上をめざす。到達目標：食物の選択における、安全面、環境負荷面について、効果的な授業実践ができるようになる。	発表、討議への参加状況により総合的に評価する。
EM3808 ----- 家庭科内容研究	2	前期 火 1-2	前田亜紀子 准教授	人体－被服－環境という系として被服を捉え、被服を纏う人体の生理・心理学的研究事例を通じて、環境要素の一つとしての被服についての理解を深める。到達目標：国内外の関連する研究論文の輪読を行い、家庭科教育への活用事例を見いだす。	討論への参加状況、課題への取り組み状況、発表内容を総合的に評価する。
EM3809 ----- 家庭科内容研究	2	後期 火 1-2	前田亜紀子 准教授	被服学研究室が所有する測定機器に精通し、被服学分野の応用研究を計画・実施する。到達目標：実験機器の使用方法の理解と同時に、被服学分野の研究への活用を理解し、家庭科教育において、応用できる力を修得する。	討論への参加状況、課題への取り組み状況、発表内容を総合的に評価する。

中等教育関連科目（家政）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3810 ----- 家庭科内容研究	2	前期 木 3-4	田中 麻里 教授	日本や諸外国の住居および環境の変遷について、歴史的背景、地域性などとの関わりを焦点を当てながら理解を深める。身近な住環境や生活空間について、どのように学ぶべきか、家庭科の住領域の内容と関わらせながら、様々な視点に基づく実践や事例をもとに考える。到達目標：日本の住居及び住環境、生活空間の現状と課題について理解を深め、今後のあり方を多角的に検討できる。	発表内容、ディスカッションの状況、レポート、期末試験等を総合的に評価する。
EM3811 ----- 家庭科内容研究	2	後期 火 7-8	田中 麻里 教授	家庭科内容研究に関連する文献講読や、資料の分析をもとに討論を行う。また、地域環境とすまいについての理解を深めるため、実地調査や事例研究などを行い、住領域の教育内容や教材開発等に生かす。到達目標：地域環境とすまいについて理解を深め、「生活の質の向上」を図り得る住領域の教育内容・教材を検討できる。	発表内容、ディスカッションの状況、レポート、期末試験等を総合的に評価する。
EM3812 ----- 家庭科内容研究	2	前期 木 7-8	長津美代子 非常勤講師	家庭経営を、家族関係・家庭経済・生活時間・家事労働・生活福祉などの分野に分け、それぞれの分野における基礎理論と研究成果を体系的に学ぶ。また、小中高の家族・家庭生活領域の学習内容に、それぞれの分野における基礎理論や研究成果をどのように反映させていくことができるのかについて検討する。到達目標：適切な教材を用いて教科内容を授業現場で効果的に展開することができる。	発表内容、ディスカッションへの参加状況、レポート課題への取り組み状況、期末試験等で総合的に評価する。
EM3813 ----- 家庭科内容研究	2	★	未定		
EM3814 ----- 家庭科内容研究	2	★	上里 京子 教授	保育学および保育教育の中核概念である「保育」「子ども」「親性・次世代育成性」「保育環境（児童文化・児童福祉）」について、国内外の基礎文献の講読等を通して理解を深める。さらに、保育教育の内容について、ナショナルカリキュラム・教科書などを対象に分析し、カリキュラム開発上の諸課題を検討する。到達目標：保育教育の中核概念について理解を深め、カリキュラム開発に必要な専門性と実践力を高める。	ディスカッションへの参加状況、レポート等を総合的に評価する。
EM3815 ----- 家庭科内容研究	2	★	上里 京子 教授	家庭科内容研究Ⅱ（保育学）で取り上げたテーマについて、国内外の文献の講読および討議等を通して一層理解を深める。また、保育教育の内容について、教科書、指導案などを対象に分析し、カリキュラム開発上の課題と解決方法を検討する。到達目標：保育教育の内容とその背景科学について理解を深め、カリキュラム開発に必要な専門性と実践力を高める。	発表内容、ディスカッションへの参加状況、レポート課題への取り組み状況、期末試験等で総合的に評価する。
----- 特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
----- 特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3831 ----- 特別研究	1	前期 木 7-8	上里 京子 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。

中等教育関連科目（家政）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3832 ----- 特別研究	1	後期 木 7-8	上里 京子 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3833 ----- 特別研究	1	前期 金 1-2	西菌 大実 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3834 ----- 特別研究	1	後期 木 1-2	西菌 大実 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3835 ----- 特別研究	1	前期 水 3-4	田中 麻里 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3836 ----- 特別研究	1	後期 木 9-10	田中 麻里 教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3837 ----- 特別研究	1	★	小林 陽子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3838 ----- 特別研究	1	後期 火 1-2	小林 陽子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3839 ----- 特別研究	1	前期 水 1-2	前田亜紀子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。
EM3840 ----- 特別研究	1	後期 水 1-2	前田亜紀子 准教授	各自の研究課題に則して、課題設定、資料収集、分析、実験、社会調査などの研究方法を指導する。	出席状況、討議への参加状況、課題レポートにより総合的に評価する。

中等教育関連科目（保健体育）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3901 保健体育科教育学研究	2	後期 金 3-4	新井 淑弘 教授 鬼澤 陽子 准教授	よりよい体育授業の実現に向けて、国内外の体育授業に関する文献を精読し、研究動向を理解した上で、これからの体育授業を考える。中学校保健体育科「保健分野」および「保健指導」に関する文献や実践報告の検討を行いながら、現在の保健教育の授業づくり、教授法などについて考察する。また、他教科との関連、系統性などのついて明らかにしながら、これからの保健授業の在り方について検討を行う。	議論への参加状況、レポート等を総合的に評価する。
EM3902 保健体育科教育学研究	2	前期 金 5-6	新井 淑弘 教授 木山 慶子 准教授	体育科教育学の概要を理解し、教育における体育の存在意義を探求する姿勢を持つことをめざす。中学校保健体育科「保健分野」および「保健指導」に関する文献や実践報告の検討を行いながら、現在の保健教育の授業づくり、教授法などについて考察する。また、他教科との関連、系統性などのついて明らかにしながら、これからの保健授業の在り方について検討を行う。	授業への参加態度、レポート、討論の様子等を総合的に評価する。
EM3904 保健体育科内容研究	2	前期 金 1-2	福地 豊樹 非常勤講師	体育という概念の歴史的な展開を概観し、体育とは何かの根拠を問いなおす作業を行う。保健体育という教科の存立根拠、内容となる運動・スポーツ文化、「身体」教育論、近代スポーツをめぐる社会的な状況等の理解を深める。	議論への参加状況、レポートにより総合的に評価する。
EM3905 保健体育科内容研究	2	後期 月 5-6	未定		
EM3906 保健体育科内容研究	2	★	未定		
EM3907 保健体育科内容研究	2	★	未定		
EM3908 保健体育科内容研究	2	後期 木 5-6	中雄 勇人 准教授	運動による身体諸機能および動作の変化を、多面的に検討するための基礎知識を学び、教育現場の指導に生かしていくことを目的とする。	レポート等で総合的に評価する。
EM3909 保健体育科内容研究	2	後期 木 7-8	中雄 勇人 准教授	学校体育を通じての身体諸機能の変化や、動作の変容についてどのようにとらえればよいのかを、運動生理学やバイオメカニクスの知識を用いて解説し、学校現場の指導に生かせるようにする。	レポート等で総合的に評価する。
EM3910 保健体育科内容研究	2	★			

中等教育関連科目（保健体育）

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3911 保健体育科内容研究	2	★			
特別研究	1	前期	専任 教員	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	発表、レポート等を総合的に評価する。
特別研究	1	後期	専任 教員	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	発表、レポート等を総合的に評価する。
EM3937 特別研究	1	前期 金 9-10	新井 淑弘 教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。
EM3938 特別研究	1	後期 金 9-10	新井 淑弘 教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。
EM3941 特別研究	1	前期 金 9-10	中雄 勇人 准教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。
EM3942 特別研究	1	後期 金 9-10	中雄 勇人 准教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。
EM3943 特別研究	1	前期 金 9-10	木山 慶子 准教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。
EM3944 特別研究	1	後期 金 9-10	木山 慶子 准教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。

中等教育関連科目（保健体育）

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM3945 ----- 特別研究	1	前期 金 9-10	鬼澤 陽子 准教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。
EM3946 ----- 特別研究	1	後期 金 9-10	鬼澤 陽子 准教授	各自の研究課題にそくして、課題設定、資料収集、分析、実験、実習等の研究方法を学習する。	出席、発表、レポート等を総合的に評価する。

体験科目

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM5551 教職実践インターンシップ	1	前期 集中	教務委員会	附属学校園，公立小中学校等で学習補助等を行い，教員として必要な専門性と学習指導，生活指導，生徒指導，保育などの実践的指導力を身に付ける。	取組状況，報告書を基に，教務委員会で評価を決定する。
EM5552 教職実践インターンシップ	1	後期 集中	教務委員会	附属学校園，公立小中学校等で学習補助等を行い，教員として必要な専門性と学習指導，生活指導，生徒指導，保育などの実践的指導力を身に付ける。	取組状況，報告書を基に，教務委員会で評価を決定する。

共通

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時 限 等	担 当 教 員	内 容	成 績 評 価 基 準
EM1001 ----- 教育課程編成の課題と実践	2	後期 木 1-2	黒羽 正見 教授	①教育課程とカリキュラム, ②教育課程と組織文化, ③教育課程から教育課程経営へ, ④教育課程の研究手法, ⑤荒牧小フィールドワーク, ⑥ビデオカンファンスやドキュメント資料による教育課程経営診断法等について学修する。	授業中のプレゼンテーション(50%)により主として授業内容への理解度を, 期末課題(50%)により理論の実践的応用についての理解度を評価する。
EM1002 ----- カリキュラム開発の課題と実践Ⅰ	2	前期 月 5-6	山崎 雄介 教授 矢島 正 教授	①カリキュラム開発の諸形態, ②「特色ある学校づくり」とカリキュラム・マネジメント開発, ③カリキュラム評価, ④カリキュラム開発への多様な当事者(保護者, 子どもなど)の参加, ⑤カリキュラム開発者としての教師, などについて学修する。	授業中のプレゼンテーションにより, 理論的知識への理解度と, 実践的応用に関わる着眼点の豊かさで評価する。
EM1003 ----- 学習支援の課題と実践Ⅰ	2	前期 火 1-2	佐藤 浩一 教授 田村 充 教授	児童生徒の知識の定着, 知識の活用, 協同学習, メタ認知等を促す教授学習の方法を心理学の理論知と学校現場の実践知の両面から検討する。	(1)学習活動を支える認知機能について正しく理解でき, (2)それに基づいて教育実践を考察する力がついているかを, 平常点(宿題・授業での発表等)60%と最終レポート40%によって, 総合的に評価する。
EM1004 ----- 教育評価の課題と実践Ⅰ	2	前期 金 1-2	山口 陽弘 教授 田村 充 教授	実践研究に欠かせない教育効果の測定法について, 主として理論的な講義を行う。その際, 実際の実践活動を行ってきた事例を, 実務家教員からも紹介してもらう。その上で, 当該事例であれば, どのような知識測定のためのテスト理論, 質問紙に関する各種理論, 知識が適応でき, 必要となるかを講義する。すなわち, 課題が実務家教員から呈示された上で, それに対して, 理論家の立場からどのような解決が可能かを試案として呈示していくものである。そして, その試案を, 受講者全員で検討して, より高めあっていく形式をとる。	ストレートマスターであれば教員採用試験に合格でき, 現職教員学生であれば教職の現場に戻ってリーダーとなりうるレベルを到達度目標とする。平常点50%, 各自の発表50%により評価する。
EM1005 ----- 授業分析実践	2	前期 木 9-10	田村 充 教授 立見 康彦 客員教授	授業を分析・構築するための心理学のおよび実践的視点を学んだ上で, それらの知見をいかに実際の授業で活用しうるかを検討する。	授業での発表, 討論への参加などにより評価する。
EM1006 ----- 児童・生徒理解の課題と実践Ⅰ	2	前期 火 3-4	大島みずき 講師 添島 康夫 非常勤講師	児童・生徒の理解の基礎知識として, 生涯発達の観点から人間の発達過程, 及び年齢に伴う一般的な発達特性や発達障害について学修する。また, 現代の子どもの置かれている状況と発達の問題点・及びその対応を事例検討を通して, 考察する。	発達, 発達障害についての基礎知識を修得(60%), 期末課題(40%)により評価する。
EM1007 ----- 児童・生徒指導の課題と実践Ⅰ	2	前期 火 5-6	懸川 武史 教授 吉田 浩之 准教授	児童生徒理解に基づく日常的な生徒指導を機能的に進め, 児童生徒一人一人の適応を助けて自己実現を可能にするために必要な理論と技法を学修した上で, 不登校, いじめ, 非行等の生徒指導上の諸問題に関する事例を通して, 実践的な指導力の向上を図る。	成績評価は, 平常点30点, 理論に関する小テスト30点, 理論に基づく生徒指導事例分析レポート40点により評価する。
EM1008 ----- 特別活動指導の課題と実践Ⅰ	2	前期 木 3-4	懸川 武史 教授 音山 若穂 教授	特別活動の目標と意義を正しく理解した上で, 学級活動の基盤となる教師-児童生徒間及び児童生徒相互の関係の望ましい在り方, 児童会・生徒会活動を効果的に進めるための学校体制の整備, 学校行事の適切な目標設定と評価について学修する	成績評価は, 平常点30点, レポート課題(ケース研究と活動計画案)70点により評価する。
EM1009 ----- 学校経営の課題と実践Ⅰ	2	前期 木 5-6	高橋 望 准教授 鈴木 達也 非常勤講師	国内外の学校経営についての理論的・実践的蓄積を幅広く学ぶとともに, 現代日本における学校教育をめぐる諸課題について, 具体的な学校経営策を探究・学修する。	授業中のプレゼンテーション・討論への参加(50%)によって主として理論的課題の理解度を, 期末課題(現代の教育課題に関わる学校経営改善策の提案, 50%)によって構想力・理論的知識の咀嚼度を評価する。

共通

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時 限 等	担 当 教 員	内 容	成 績 評 価 基 準
EM1010 ----- 教育環境学	2	★	新藤 慶 准教授	学校や教師に対する様々な批判が渦巻く現状における効果的な教育実践には、学校教育制度が社会的に果たしてきた機能や教師への社会的な役割期待、あるいは教育制度改革や教育指導がもたらす(意図せざる)影響等について多角的に理解しておくことが役立つ。この授業では、教育社会学の理論と様々な調査資料に基づいて学校を取り巻く社会環境の性質を理論的・実証的に把握するとともに、様々な教育問題への対処法について、受講者相互及び教員とのディスカッションを通じて考察する。	成績評価は、各回の授業への貢献(課題・発表等)と期末レポートを対象とし、授業で学んだ理論や知識の理解に基づきながら、具体的な教育行為の効果や様々な諸問題への対処法について考察できているかとの観点に基づいて行う。
EM1011 ----- 教員の倫理	2	後期 月 3-4	三澤紘一郎 准教授	Professional ethics(職業倫理)という近年注目を集める分野を、「倫理とはどのようなものか」という根源的な地点から理解し、教師という専門家としての倫理を再考する。	授業への積極的な参加(ディスカッションやプレゼンテーション):50% 期末レポート:50%
EM1012 ----- 多文化共生教育の課題と実践	2	前期 水 3-4	新藤 慶 准教授 清水 喜義 非常勤講師	グローバル化の進展に伴い、その必要性が高まっている「多文化共生教育」について、その現状と今後の実践のあり方について考える。特にこの授業では、群馬県にも多くが生活するブラジル人児童生徒を対象とした多文化共生教育に関する諸研究や諸実践を、子ども、教師、保護者と教育行政などさまざまな視点から検討することで、実態の的確な把握と、よりよい実践の構築につなげた。	成績評価は、各回の授業への貢献(課題・発表等)と期末レポートを対象とし、授業で学んだ理論や実態の理解に基づきながら、具体的な多文化共生教育の実践について考察できているか、との観点に基づいて行う。
EM1013 ----- 多エスニシティ化社会の教育の課題と実践	2	★		2018年度は開講しない。	

児童生徒支援

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単 位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1014 ----- 学習支援の課題と実践Ⅱ	2	後期 火 1-2	佐藤 浩一 教授 田村 充 教授	「学習支援の課題と実践Ⅰ」を基礎として、児童生徒の学習や動機づけ等に関する理解に基づいて、理論を実践の中で具体化する方途を探る。	(1)様々な理論に基づく教授学習方法の有効性を検討でき、(2)より効果的な学習支援方法を実践的に構築する力がついているかを、平常点(模擬授業・授業での協議への参加等)60%と最終課題40%によって、総合的に評価する。
EM1015 ----- 教育評価の課題と実践Ⅱ	2	後期 金 1-2	山口 陽弘 教授 田村 充 教授	教育評価の課題と実践Ⅰで獲得した知識を基にして、実際に知識や思考力測定のためのテストを作成してみる。受講者各自が自分の興味関心に応じて質問紙、テストをできるようにすることを授業の目標にする。	課題への全体的な取り組みの姿勢、特に、各自が授業内で提案する評価の枠組が評価対象となる。さらに各自に模擬授業の実施を求める。その各々を50%ずつ評価する。
EM1016 ----- 児童・生徒理解の課題と実践Ⅱ	2	後期 火 3-4	大島みずき 講師 添島 康夫 非常勤講師	児童・生徒理解の方法を習得するために、発達特性や発達障害の知識をもとにした事例の検討を行う。	発達特性、発達障害についての理解(30%)及び、事例検討への参加・課題(70%)で総合的に判断する。
EM1017 ----- 児童・生徒指導の課題と実践Ⅱ	2	後期 月 7-8	懸川 武史 教授	非行、校内暴力、不登校、いじめ等、生徒指導上の諸問題について、共通する問題状況に関する理論を学修した上で、個別の問題に有効な要因について分析し、その理解と指導法について学修する。	成績評価は、授業への参加による平常点30点、個別テーマに関する調査・研究報告50点、事例報告20点により評価する。
EM1044 ----- 児童・生徒指導の課題と実践Ⅱ	2	後期 月 特例	懸川 武史 教授	非行、校内暴力、不登校、いじめ等、生徒指導上の諸問題について、共通する問題状況に関する理論を学修した上で、個別の問題に有効な要因について分析し、その理解と指導法について学修する。	成績評価は、授業への参加による平常点30点、個別テーマに関する調査・研究報告50点、事例報告20点により評価する。
EM1018 ----- 教育相談の課題と実践	2	後期 火 5-6	井田 廣司 教授 岩瀬 大樹 准教授	学校教育相談の今日的課題を概観しつつ、教員個人およびスクールリーダーの立場から、多角的に子ども・保護者などへの支援について考察を深める。また、事例検討・ロールプレイングなどの方法を積極的に取り入れるとともに、学校と司法・行政・福祉機関などとの有機的な連携に関しても実践的に学んでいく。	平常点(30%)と、適宜実施するリフレクション(70%)をもとに、総合して評価する。
EM1019 ----- 教育相談実習	1	後期 火 7-8	懸川 武史 教授 岩瀬 大樹 准教授	実習校や関係教育相談機関において、教師として教育相談に臨み、教育相談の実践を通じて教育現場に即した教育相談の、1.校内連携の在り方、2.家庭との連絡や相談の在り方、3.専門相談機関との連携の在り方、4.年度を越えた縦断的なサポートの在り方など学校現場に特に必要とされる教育相談の実践を、一つ一つの事例に即して学び、現場に合った相談を実践する。	成績は、平常の実習への取り組みと事例記録とスーパーヴィジョンを70点とし、学期末の事例研究を30点とし評価する。
EM1020 ----- 特別活動指導の課題と実践Ⅱ	2	後期 水 1-2	懸川 武史 教授 音山 若穂 教授	特別活動、特に学級経営・生徒指導の基盤となる学級活動の進め方について、多様な指導方法の種類とその特徴について理解し、有効な目標設定・教師の支援・教育効果の評価のための技能の向上を目指す。特別活動で要求される教師の心理教育的支援技能の実習を含む。模擬授業及び技能実習を実施するため現職教員と学部新卒学生が一緒に受講する。	成績は討議・実習への参加による平常点30点と、レポート課題(授業案の作成)70点により総合的に評価する。
EM1021 ----- 心理・発達アセスメント実習	1	後期 月 1-2	音山 若穂 教授 大島みずき 講師	児童生徒理解のための心理検査、発達検査及び知能検査等の実施法と解釈の仕方を学ぶ。また、心理尺度に基づく実践効果の検証方法も扱う。	成績は、授業中の発表など平常点(50%)とレポート(50%)により総合的に評価する。レポートは、テーマ毎に課せられる。

児童生徒支援

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1045 心理・発達アセスメント実習	1	後期 火 特例	音山 若穂 教授 大島みずき 講師	児童生徒理解のための心理検査、発達検査及び知能検査等の実施法と解釈の仕方を学ぶ。また、心理尺度に基づく実践効果の検証方法も扱う。	成績は、授業中の発表など平常点（50%）とレポート（50%）により総合的に評価する。レポートは、テーマ毎に課せられる。
EM1022 児童・生徒指導のためのロールプレイの技法と実習	1	前期 集中	山口 陽弘 教授 懸川 武史 教授	児童・生徒指導、保護者への対応、職場での問題点などへの対処法を、受講生に生徒役、教師役、保護者役などを割り振り、ロールプレイを行うことで、実際には指導力向上に役立てる。学部新卒学生であれば教員採用試験に合格できることにももちろん、現職教員学生であれば教職の現場に戻ってリーダーとなりうるレベルである。	授業の毎回出席はもちろん、課題への全体的な取り組みの姿勢、最終的なロールプレイへの事前・事後における、受講者自身の自己報告による改善レポートを求める。そのレポートも評価対象とする。
EM1023 外国籍児童生徒の支援と学校運営	2	後期 水 3-4	新藤 慶 准教授 清水 喜義 非常勤講師	戦後の日本には、在日韓国・朝鮮人、中国帰国者、アジア系外国人、南米系外国人など、多様な国籍やエスニシティを持つ人々が暮らしてきた。そのことに伴い、教育の面でも、これらの外国籍児童生徒に対するさまざまな働きかけを行ってきた。そこでこの授業では、戦後の日本における外国籍児童生徒への支援や、それを支える学校運営についての諸研究や諸実践の検討を通じて、成果と課題を把握し、今後の外国籍児童生徒教育のあり方について考えたい。	成績評価は、各回の授業への貢献（課題・発表等）と期末レポートを対象とし、授業で学んだ理論や実態の理解に基づきながら、具体的な外国籍児童生徒の支援や、それを支える学校運営について考察できているか、との観点に基づいて行う。
EM1024 発達障害児特別支援教育の課題と実践	2	後期 集中	霜田 浩信 教授 安田 淑美 非常勤講師	特別支援教育の対象児の中でも、小・中学校の通常学級に在籍する児童生徒に焦点を当て、個々の子どもの実態の把握、それに基づく個別の指導計画の立案及び支援の方法について、実践事例を交えて具体的に学ぶ。この授業を通して、特別支援教育コーディネーターの役割と実際についての専門的知識の一端を身に付けることを目的とする。	評価は、授業への参加による平常点（30%）、学修した知識を用いて作成する個別の学習教育計画案の内容とプレゼンテーション（70%）を総合して行う。
EM1025 教育実践のリフレクション	1	★		2018年度は開講しない。	
EM1026 教育現場実践実習	1	通年 集中	専任教員他	実習校の教育課程、年間指導計画に基づく学校運営への参加により40時間以上の実習を行う。学習指導、生徒指導、学校運営において、チームティーチング等の役割により教育活動へ参加する。授業計画に基づき担当教員の指導を受ける。	参加状況（20%）とリフレクションの内容（80%）を評価する。
EM1027 児童生徒支援課題研究	1	前期	専任教員他	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1028 児童生徒支援課題研究	1	後期	専任教員他	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。

学校運営

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1029 ----- カリキュラム開発の課題と実践Ⅱ	2	後期 月 5-6	矢島 正 教授 山崎 雄介 教授	受講者が自ら、附属学校や協力校、現職教員の在籍校、あるいはその他先進校などにおいてカリキュラム開発事例を収集・分析し、その結果を生かしながら自身で特定領域・科目のカリキュラムの概要を提案する。	授業中のプレゼンテーションにより主として情報収集力、分析力、カリキュラム開発に関わる実践的力量を評価する。
EM1030 ----- 学校経営の課題と実践Ⅱ	2	後期 木 5-6	高橋 望 准教授 鈴木 達也 非常勤講師	学校内外の組織づくり、管理職—主任等ミドルリーダー層、ミドルリーダー層—教職員等の連携の円滑化などについて、具体的な学校経営上の判断が要請される場面（教育課程編成、危機管理体制の構築、クレーム・トラブルへの対応等）を想定したワークショップ等を取り入れ、実践的力量を向上させる。	到達目標は、①校内での職務に応じ、学校経営に的確に参画できる力量を向上させること、②管理職としてのリーダー行動を身につけることである。授業中の諸課題（ワークショップ、ロールプレイ等、50%）及び期末課題（学校経営方針への自身の参画方針の立案、50%）により評価する。
EM1031 ----- 学校経営計画ワークショップ	1	後期 金 3-4	矢島 正 教授	学校経営計画立案に関わる実践的学習、及び、受講者各自が学校経営計画の運営をワークショップ形式で行う。	到達目標は、学校経営計画立案に関わる校内での検討をリードできる知識と実践力量の獲得である。授業でのプレゼンテーションを通じ、企画力、構想力、指導力を評価する。
EM1032 ----- スクール・リーダーシップの課題と実践	2	後期 集中	山崎 雄介 教授 木村 淳一 客員教授	各種主任、校務分掌の長、管理職など、学校におけるミドルクラス以上のリーダーの役割と実践力量について、先進事例や外国研究を通して学ぶ。	授業中の諸課題50%により実践的力量を、最終課題50%により主として理論的背景への理解度を評価する。
EM1033 ----- 教師の職能発達と学校経営	2	前期 火 特例	矢島 正 教授 山崎 雄介 教授	校内研修や日常的な授業改善など、学校を舞台とした教師の資質向上策について、先進事例や外国研究から学ぶ。	授業でのプレゼンテーション（40%）により情報収集力と理論的背景の理解度を、期末課題（受講者が選択した資質・能力についての研修計画・向上策の策定、60%）により構想力・企画力を評価する。
EM1034 ----- 外国籍児童生徒の支援と学校運営	2	後期 水 3-4	新藤 慶 准教授 清水 喜義 非常勤講師	戦後の日本には、在日韓国・朝鮮人、中国帰国者、アジア系外国人、南米系外国人など、多様な国籍やエスニシティを持つ人々が暮らしてきた。そのことに伴い、教育の面でも、これらの外国籍児童生徒に対するさまざまな働きかけを行ってきた。そこでこの授業では、戦後の日本における外国籍児童生徒への支援や、それを支える学校運営についての諸研究や諸実践の検討を通じて、成果と課題を把握し、今後の外国籍児童生徒教育のあり方について考えたい。	成績評価は、各回の授業への貢献（課題・発表等）と期末レポートを対象とし、授業で学んだ理論や実態の理解に基づきながら、具体的な外国籍児童生徒の支援や、それを支える学校運営について考察できているか、との観点に基づいて行う。
EM1035 ----- 学校評価の課題と実践	2	後期 金 5-6	矢島 正 教授 山崎 雄介 教授	学校教育に関わる各当事者のニーズのアセスメントやそれを踏まえた経営改善に資する評価の方法論について、先進事例を通じて研究する。	授業中のプレゼンテーションから理解度、構成力を評価する。
EM1036 ----- 学校危機管理体制構築の課題と実践	2	後期 木 3-4	高橋 望 准教授 未定	学校の危機管理体制の構築について、現実起きた事故のケース・スタディを交えつつ、先進事例の分析と附属校、協力校、現職院生の在籍校、警察、消防等関係諸機関におけるフィールドワークの往還によって学ぶ。	授業でのプレゼンテーション（50%）により理論・事例への理解度を、期末課題（危機管理体制構築に関わる提案、50%）により実践的力量・企画力を評価する。
EM1037 ----- 地方教育行政の課題と実践	2	前期 集中	矢島 正 教授	地方教育行政をめぐる法制と実践上の諸課題について、近年の教育改革との関わりで理解を深める。また、地方教育行政機関等の見学を行い、実態の把握や今後のあり方について検討する。	授業中のプレゼンテーション・討論への参加（40%）と見学におけるレポート（60%）で授業内容への理解度を評価する。

学校運営

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1038 ----- 学校経営のリフレクション	1	★		2018年度は開講しない。	
EM1039 ----- 学校運営課題研究	1	前期	専任教員他	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1040 ----- 学校運営課題研究	1	後期	専任教員他	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。

実習

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 ----- 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1041 ----- 課題発見実習Ⅰ	2	前期 集中	専任教員	附属小・中・特別支援・幼稚園の4校園を各2日ずつ訪問観察し、校種を越えた学校教育全体の構造とつながりの理解及び3～18歳までの健常児と障害児の発達を理解する。指導教員は、実習校に出向き、観察オリエンテーション及び事後検討会に同席し、実習校教員とともに指導にあたる。	成績は、実習録及び実習時や事後検討会での取り組みにより総合的に判断し、実習校指導教員と大学院指導教員が協議の上、大学院指導教員が評価する。
EM1042 ----- 課題発見実習Ⅱ	5	後期 集中	専任教員	1～3名からなる実習班を編制し、実習班ごとに連携協力校2校において、各以下の3点を行う。 a.学校の全体的概要やカリキュラムの特性と構成などの教務事項を把握する。 b.授業、部活動等の課外活動、生徒指導等学校教育活動の全体の観察・理解、及び、生徒個人観察、学級全体観察を行う。 c.授業等補助など実践に参加する。実習班毎に1名の指導教員が担当する。	成績は、実習録及び実習時や事後指導時での取り組みにより総合的に判断し、実習校指導教員と大学院指導教員が協議の上、評価する。
EM1043 ----- 課題解決実習	6	通年 集中	専任教員他	実習生各自が課題解決のための企画・立案を実習開始時に行い、その実践に向けて計画的に実習する。実習の具体的な内容は、学生の課題テーマにより個別に計画していく必要があるが、a.教科等の指導、b.学級経営、c.児童生徒指導の実践を必ず含める。各受講者の課題研究の指導教員（研究者教員と実務家教員の各1名）が指導にあたる。	成績は、実習録及び実習時や実践検討会での取り組みにより総合的に判断し、実習校指導教員と大学院指導教員が協議の上、評価する。

児童生徒支援

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1051 児童生徒支援課題研究	1	前期 火 9-10	佐藤 浩一 教授 田村 充 教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1052 児童生徒支援課題研究	1	後期 火 9-10	佐藤 浩一 教授 田村 充 教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1053 児童生徒支援課題研究	1	前期 火 9-10	山口 陽弘 教授 平林 茂 客員教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1054 児童生徒支援課題研究	1	後期 火 9-10	山口 陽弘 教授 平林 茂 客員教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1055 児童生徒支援課題研究	1	前期 火 9-10	音山 若穂 教授 懸川 武史 教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1056 児童生徒支援課題研究	1	後期 火 9-10	音山 若穂 教授 懸川 武史 教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1057 児童生徒支援課題研究	1	前期 火 9-10	大島みずき 講師 懸川 武史 教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1058 児童生徒支援課題研究	1	後期 火 9-10	大島みずき 講師 懸川 武史 教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1059 児童生徒支援課題研究	1	前期 火 9-10	三澤紘一郎 准教授 立見 康彦 客員教授	実習を通じて、児童生徒の学習や生活支援に関する課題を講義生らに明確にし、発表させる。本授業は、実習と往還による実践報告書作成を進め、1名ずつ発表者毎に、受講生らに指導する。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクシオン報告書、課題研究中間報告会、課題研究会などによって見取り、総合的に評価する。

学校運営

授業内容表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授業番号 授業科目	単位	時限等	担当教員	内 容	成績評価基準
EM1071 ----- 学校運営課題研究	1	前期 火 9-10	新藤 慶 准教授 矢島 正 教授	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1072 ----- 学校運営課題研究	1	後期 火 9-10	新藤 慶 准教授 矢島 正 教授	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1073 ----- 学校運営課題研究	1	前期 火 9-10	山崎 雄介 教授 木村 淳一 客員教授	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1074 ----- 学校運営課題研究	1	後期 火 9-10	山崎 雄介 教授 木村 淳一 客員教授	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1075 ----- 学校運営課題研究	1	前期 火 9-10	高橋 望 准教授 矢島 正 教授	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。
EM1076 ----- 学校運営課題研究	1	後期 火 9-10	高橋 望 准教授 矢島 正 教授	実習を通じて、学校運営に関する課題を受講生らが明確にし、その課題解決のための計画立案、実践を行い、研究実践報告書としてまとめ発表する。本授業は、実習との往還により授業を進める。受講者毎に、受講者の課題テーマを専門とする研究者教員と実務家教員が各1名ずつペアになり指導にあたる。	成績は、課題に関する理論的な考察、課題解決に向けたプランの提案、実践とそのリフレクションの深さ等を、授業中の発表、課題研究中間報告書、課題研究報告書、課題研究中間報告会、課題研究報告会などによって見取り、総合的に評価する。

授 業 内 容 表

◎ 時限等に★印のあるものは、今年度は開設されない。

授 業 番 号 授 業 科 目	単 位	時 限 等	担 当 教 員	内 容	成 績 評 価 基 準